

2022
World
Rose
Convention
Adelaide
Australia



第19回世界バラ会議アデレード大会2022 視察報告書

2023年(令和5年)3月
世界バラ会議福山大会実行委員会

目次

I. 2022年世界バラ会議アデレード大会開催概要	2	IV. 大会運営視察	66
1. 大会名称	3	1. 実行委員会組織	67
2. 開催趣旨	3	2. 宿泊・交通計画	67
3. 大会の事業構造	4	3. 参加・登録方法	70
4. 開催期間	5	4. 配布物	71
5. 会場概要	5	5. 広報計画	71
6. 参加登録費	6	6. ボランティア運用	71
7. 登録者数	6	7. 安全・衛生対策(感染症対策等)	72
8. 大会プログラム概要	6	8. スポンサー・パートナー計画	72
9. 大会プログラムタイムライン	7		
II. 視察団派遣計画	9	V. 関係者、参加者からの意見、その他の確認事項	74
1. 視察内容	11	1. 関係者からの意見	
■視察重点項目		2. 参加者からの意見	
◇実行委員会・大会運営に関する事項		3. ROSE & GARDEN EXPO出展者の意見	
◇開催内容、会場に関する事項		4. アデレード大会独自の特徴的な取組	
2. 日程別視察記録画像	19	5. アデレード大会におけるWFRSガイドラインとの相違点	
10月27日(木)	19		
10月28日(金)	20	VI. 世界バラ会議福山大会の開催準備への考察	78
10月29日(土)	23	1. 「世界バラ会議福山大会」の4つの柱	
10月30日(日)	24	2. 「世界バラ会議福山大会」のレガシー創出に向けて	
10月31日(月)	30	3. 世界バラ会議福山大会の開催準備に向けて	
11月1日(火)	32	4. 観光振興に向けて	
11月2日(水)	35		
11月3日(木)	37		
III. 大会プログラム内容	40		
1. 本会議	41		
①世界バラ会連合 各種委員会・会議など	41		
②講義	42		
③開会式・ウェルカムパーティー	51		
④視察ツアー	52		
⑤閉会式・表彰式・ガラディナー	53		
⑥各種表彰	54		
2. オプションツアー	55		
⑦プレツアー	55		
⑧ポストツアー	59		

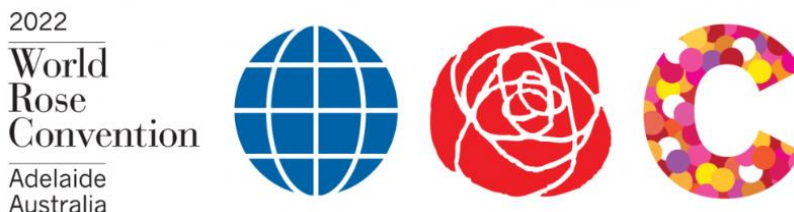


I.2022年世界バラ会議アデレード大会開催概要

1.大会名称

2022 World Rose Convention Adelaide Australia (日本語表記:第19回世界バラ会議アデレード大会2022)

■大会ロゴ



2.開催趣旨(大会ホームページより抜粋)

■大会概要

2022年世界バラ会議アデレード大会は、豪州ばら会主催の元、国内5州のばら会、南オーストラリア州政府、アデレード市議会、アデレード・コンベンションビューローの支援を受けて開催されます。大会会場は、国際的に高い評価を得ており、近年改修された、アデレードコンベンションセンターです。

オーストラリアは、その理想的な気候条件ゆえ、あらゆる面でのばら文化で知られる国です。約3,500人のメンバーを擁する豪州ばら会は、世界でも有数の評判を集め、成功を収めているばら会の1つです。

本大会の大きな特徴は、“豪州ばら選手権”と花の展示を取り入れ、屋内でばらと緑を展示する大規模な公開展示(訳注:ROSE&GARDEN EXPO)があることです。

■開催地アデレードについて

アデレードは、南オーストラリア州の国際色豊かな沿岸都市です。トレンズ川沿いに広がる公園には、名だたる先住民芸術を含む膨大なコレクションを展示する南オーストラリア美術館や、自然史を専門とする南オーストラリア博物館などの有名な博物館があります。

アデレード市を訪れる人の多くは、陽光と空間の広がり、そして慌てずとも1日の間にできることの幅広さに気が付きます。それが、アデレード市が比類なきコンベンション都市たる由縁であり、また、ロンリー プラネットとニューヨークタイムズ紙の両方が 2015年に見るべき場所のトップ 10に評価した理由でもあります。

アデレード市は、5つ星のレストランを訪れたい人、一風変わった路地裏のバーに行きたい人、にぎやかなセントラルマーケットの散策がしたい人、緑地・公園でのサイクリングがしたい人、絵のように美しいアデレードヒルズでの散歩がしたい人、美しいビーチでリラックスしたい人……など誰もが楽しめる街です。

アデレード市は多様な文化が混ざり合っているため、食文化も豊かであり、東部のランドル・ストリートには、歴史あるパブと家族経営のカフェやレストランが混在しています。朝・昼・晩間問わず外食できます。5分ほど歩くノーウッド・パレードはヨーロッパの影響を多分に受けている一方、チャイナタウンやアデレード・セントラル・マーケットにほど近いグージャー・ストリートはアジアの多文化料理店が数多くあります。

アデレード市には、ブティックホテル、アパートメント、シーサイドリゾート、ヘリテージコテージなど、多くの宿泊施設があります。ほとんどのホテルは街の中心地にありますが、ノース・アデレードや海岸沿いにも、ホテル、モーテル、B&Bなどが数多くあります。

アデレードの気候は穏やかで、年間を通して青空が広がり、冬の平均気温は16度、夏は28度です。

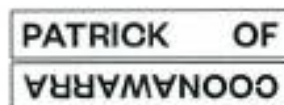


3.大会の事業構造

- 主催：豪州ばら会
- 後援：南オーストラリア州ばら会／タスマニア州ばら会／ニューサウスウェールズ州ばら会／クイーンズランド州ばら会／ビクトリア州ばら会／南オーストラリア州政府／アデレード市議会／アデレード・コンベンションビューロー
- スポンサー企業



**Business
Events
Adelaide**



PLATINUM PARTNER



EXPO GOLD PARTNERS



CONVENTION DINNER PARTNER



BARISTA SPONSOR



EDUCATION PARTNER



LANYARD SPONSOR



I.2022年世界バラ会議アデレード大会開催概要

4.開催期間

2022年10月27日(木)～11月3日(木) 8日間

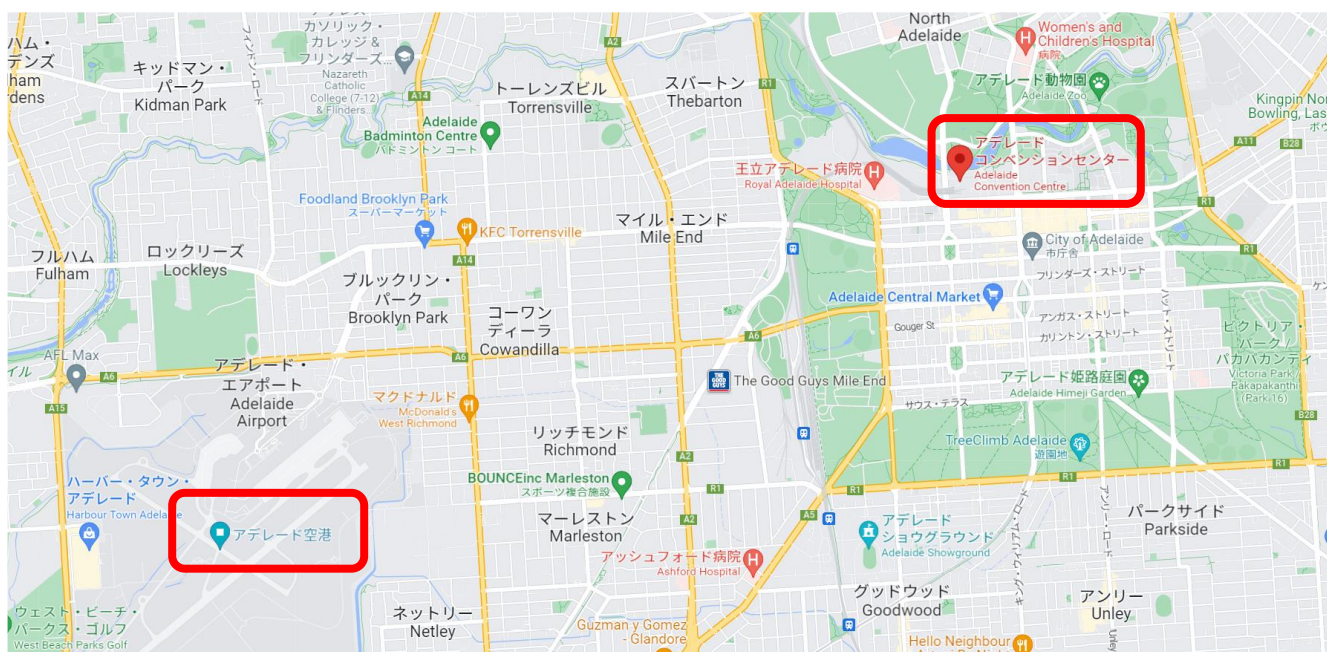
- プレツアー:2022年10月22日(土)～10月26日(水)
- ポストツアー(前期):2022年11月4日(金)～11月8日(火)
- ポストツアー(後期):2022年11月9日(水)～11月14日(月)

5.会場概要

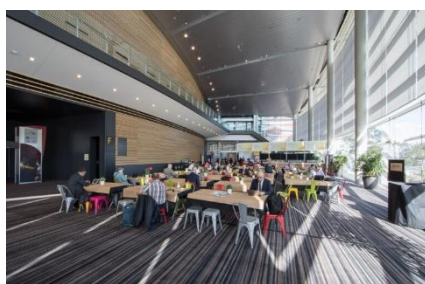
メイン会場のアデレードコンベンションセンターは、アデレード空港からも近く、市の中心部という便利な場所であり、緑地とトレンズ川に囲まれた美しい川岸地区にある。

複数のホール、宴会場、会議室、屋外スペースを備えた会場であり、医療の中心地、エンターテイメント、文化、スポーツ地区に近接し、国際的なブティックホテルや宿泊施設からも徒歩圏内である。

また、公共交通機関(アデレード駅、タクシー乗り場)へのアクセスも非常に良好である。



右がアデレードコンベンションセンター、
左が、初日の受付場所となった
インターコンチネンタルアデレードホテル



6.参加登録費

AUD1=93円で算出

Standard Registration(スタンダード登録)		
早期登録料	AUD 850	JPY 79,050
通常登録料	AUD 1,050	JPY 97,650
歓迎レセプション	AUD 85	JPY 7,905
ガラディナー	AUD 150	JPY 13,950
豪州ばら会ディナー	AUD 110	JPY 10,230
【1日登録料(ワンデイ)】		
10/28 のみ	AUD 200	JPY 18,600
10/31 のみ	AUD 200	JPY 18,600
11/1 のみ	AUD 200	JPY 18,600
11/2 のみ	AUD 100	JPY 9,300
11/1 のみ	AUD 200	JPY 18,600
※1日登録料には、夕食代・夕食以降のアクティビティ料金は含まれない。		

Virtual Registration(バーチャル登録)	
AUD 400	JPY 37,200

本大会の登録料は、過去大会においてオプション料金とされていた多くの項目が含まれており、非常にお得な料金設定です。開会式、4日間のモーニングティーとランチ、ワールドクラスの講義プログラム、素晴らしい終日ツアーやエレガントな歴史的建造物での特別なランチなどが含まれます。同様に登録料の中で、アデレード植物園、クレランド野生動植物公園、キャリック ヒル、ばら園、19世紀の街並みを擁するノーステラス散策ツアーを訪れることができます。

さらに、大会登録者は、アデレードコンベンションセンター内で大会と併せて開催される「International Rose and Garden Expo」にも入場可能です。そこでは、全国的なローズショー、美しい花き展示、園芸関連商品を販売する出店者への訪問、そして、毎日行われる講義を楽しむことができます。(大会ホームページより)

■バーチャル大会への参加登録について

アデレード大会では、大会にオンラインでアクセス可能となる「バーチャル参加者」として登録することも可能です。登録は400豪ドルで、開会式、3日間の講義シリーズ、世界バラ会連合ガラ・アワード・ディナーを仮想プラットフォームを通じて高品質でストリーミングできます。参加者は、時差を考慮し、録画映像へのアクセスも可能となります。(大会ホームページより)

福山市では、現地からのオンライン配信映像を活用してパブリックビューイングを行い、参加者から好評を博した。

7.参加者数

大会全体 …………… 361人(うち、オンライン参加…30人)
ローズエキスポ…… 2,300人

8.大会プログラム概要

■スタンダード・フル登録に含まれるイベントやアクティビティ

- ・開会式(グランド・オープニング・セレモニー)
- ・講義プログラム、モーニングティー・ランチ(4日間)
- ・終日ツアーと歴史的建造物での特別なランチ
- ・日帰りツアー・訪問
(アデレード植物園、クレランド野生動植物園、キャリック・ヒル、ばら園)
- ・19世紀の街並み(ノーステラス周辺)を巡るウォーキングツアー
- ・国際ばらとガーデニング博覧会(International Rose and Garden Expo)
(全国ローズ・ショー、フラワーディスプレイ、講義プログラム)

■バーチャル登録

- ・アデレードコンベンションセンターからのライブストリーミングと録画配信の視聴。
- ※視聴内容:開会式、3日間の講義シリーズ、世界バラ会連合ガラ・アワード・ディナー

I.2022年世界バラ会議アデレード大会開催概要

9.大会プログラムタイムライン

日程	時間	行事	場所	追加登録料 (日本円)
10/27 (木)	12:00~18:00	登録受付	@インターコンチネンタルアデレード	
	18:30~20:00	ウェルカムレセプション		
	20:00~	自由夕食		
10/28 (金)	07:45~08:45	登録受付	@アデレードコンベンションセンター	
	09:00~10:30	開会式		
	10:30~11:00	モーニングティ		
	11:00~	開会宣言(豪州ばら会 ギャビン・ウッズ会長)		
	11:35~	基調講演①『オーストラリアの動植物と人間の影 響』(クリス・ダニエルズ教授)		
	12:30~	昼食		
	13:15~	バス出発⇒視察ツアーへ	@クルランド野生動物公園@クラファーズ (アデレード郊外)	
	16:00~21:00	ローズ&ガーデンエキスポ	@アデレードコンベンションセンター	
	18:00~	自由夕食		
19:00~22:00	世界バラ会連合 理事会1			
10/29 (土)	08:30~10:00	大会委員会	@アデレードコンベンションセンター	
	10:00~13:00	表彰委員会		
	09:00~17:00	ローズ&ガーデンエキスポ(継続)		
	13:30~13:45	ローズ&ガーデンエキスポ グランドオープン		
	14:30~16:30	視察ツアー	@南豪州美術館	
	19:00~19:30	豪州ばら会 ディナー (パーティ前のウェルカムドリンク)	@インターコンチネンタルアデレード	
	19:30~23:00	豪州ばら会 ナショナルディナー		
10/30 (日)	07:00~22:30	1日オプショナルツアー	@カンガルー島	AUD:315 (JPY:29,295)
	08:00~18:00	1日オプショナルツアー	@クリアバレー	AUD:100 (JPY:9,300)
	14:30~	オプショナルツアー	@ノーステラス文化地区 等	
~オーストラリアのばらを愛でる~				
10/31 (月)	08:30~	講義②『オーストラリアのガーデニングの歴史』 (トレバー・ノットル)	@アデレードコンベンションセンター	
	09:20~	講義③『豪州をばらの世界図に載せるにあたって のDavid Rustonの役割』 (スー・ツヴァール)		
	10:05~	フェルコ(剪定ばさみメーカー) プレゼンテーション		
	10:25~10:55	モーニングティ		
	10:55~	講義④『アリスター・クラーク・ローズ及び豪州のば らの育種家:豪州ばらの交配の100年』(partA)』 (ジム・ケーン)		
	11:40~	講義⑤『アリスター・クラーク・ローズ及び豪州のば らの育種家:豪州ばらの交配の100年』(partB)』 (テート・ハンコックス)		
	12:20~	スウェーデンばら会 プレゼンテーション		
	12:40~	昼食		
	13:15~15:15	出発⇒視察ツアーへ	@アデレード植物園(国際ばら園) @南豪州美術館	
	14:00~15:15	国際審査委員会(招待者のみ)		
	15:30~16:15	移動	@キャリックヒル@スプリングフィールド (アデレード郊外)	
	16:30~18:00	視察ツアー	@アリスター・クラーク・ローズガーデン	飲み物付き
	18:30~19:00	市内へ(自由夕食)		
18:45~20:45	豪州ばらコンテスト表彰			

I.2022年世界バラ会議アデレード大会開催概要

日程	時間	行事	場所	追加登録料 (日本円)
～みんなで公共の場でばらを愛でる～				
11/1 (火)	08:30～	講義⑥『ニュージーランドのばら園、ばら、育種家』 (ダグ・グラント、ヘイデン・フォールツ)	@アデレードコンベンションセンター	
	09:20～	講義⑦『リヨン及びその他の場所からのばら園: 公園、庭園、及び本市における重要性』(ダニエル・ ブーランズ)		
	10:05～10:35	モーニングティ		
	10:35～	講義⑧『今日の庭園におけるシュラブローズ(低木 のばら):公共空間におけるシュラブローズの活用の 新旧』(マティアス・メイアン)		
	11:25～	講義⑨『激動の時代におけるばら会 アメリカばら 会会の130年の歴史』 (ダイアン・ソマーズ)		
	12:10～	講義⑩『杉の庭とばらの絵画の歴史:ハンス・ハイセン卿 とノラ・ハイセン:「ザ・セダーズ」の庭と絵画に描かれた ばらの歴史』(アラン・キャンベル)		
	12:30～	第15回ヘリテージローズ会議ブリュッセル大会プレ ゼンテーション(ベルギー王立ばら会)		
	12:45～	昼食		
	13:30～18:00	午後フリー/又はツアー(市内散策/プライベート ガーデンツアー/ノーステラス文化地区散策ツアー)		
	19:00～22:00	世界バラ会連合フレンズディナー (招待者のみ)		
	19:00～	自由夕食		
11/2 (水)	08:30～18:30	終日視察ツアー	@アデレードヒルズ (アデレード郊外)	
	18:30～	自由夕食		
	19:00～22:00	世界バラ会連合 評議会		
～現在・将来におけるばらの活用～				
11/3 (木)	08:30～	講義⑪『ばらの飲料水』(ローズ・ケンティッシュ)	@アデレードコンベンションセンター	
	09:10～	講義⑫『新しいばらのスタイル:未来に向けて珍しいば らの花を咲かせよう』(トーマス・ブロー)		
	09:55～10:25	モーニングティ		
	10:30～11:15	講義⑬『世界のばらを愛でる』(スティーブ・ジョーン ズ)		
	11:15～12:20	ブリーダーズパネル『豪州と世界のばら育種家』(ケル ビン・トリンパー)		
	12:20～12:50	第20回世界バラ会議福山大会プレゼンテーション (日本ばら会)		
	12:50～13:30	昼食		
	14:00～16:00	世界バラ会連合 理事会2	@アデレードコンベンションセンター	
	18:00～18:30	ガラディナー(ウェルカムドリンク)		
	18:30～22:30	ガラディナー・アワード		

I.2022年世界バラ会議アデレード大会開催概要

アデレード大会			福山大会		
日程	時間	行事	日程	時間	行事
Day 1			(大会前日)		
10/27 (木)	18:30~20:00	ウェルカムレセプション	5/17 (土)	16:00~17:00	広報委員会
	19:00~22:00	理事会1		18:00~20:00	功労委員会
Day 2			Day 1		
10/28 (金)	09:00~10:30	開会式	5/18 (日)	08:30~11:30	理事会1
	11:00~11:35	開会宣言		13:00~15:00	出版委員会
	11:35~12:30	基調講演		15:30~17:30	分類・登録委員会
	13:15~	視察ツアー		18:30~21:00	ウェルカムパーティ
Day 3			Day 2		
10/29 (土)	08:30~10:00	大会委員会	5/19 (月)	09:30~11:30	開会式
	10:00~13:00	表彰委員会		12:00~13:30	歓迎昼食会
	14:30~16:30	視察ツアー		14:00~16:00	ハリテージローズ保存委員会
				16:00~18:00	各賞(表彰)委員会
		19:00~22:00		大会開催委員会	
Day 4			Day 3		
10/30 (日)	07:00~22:30	1日オプションツアー	5/20 (火)	08:30~12:00	講義
				12:00~17:30	視察ツアー
				18:00~20:00	国際審査委員会
				20:00~22:15	国際ばらコンテスト委員会/ ブリーダーズクラブ
Day 5			Day 4		
10/31 (月)	08:30~12:20	講義	5/21 (水)	08:30~12:00	講義
	12:20~12:40	地域大会プレゼン		12:00~17:30	視察ツアー
	13:15~15:15	視察ツアー		18:00~20:00	交流会
	14:00~15:15	国際審査委員会			
	18:45~20:45	豪州ばらコンテスト審査結果発表・表彰			
Day 6			Day 5		
11/1 (火)	08:30~12:30	講義	5/22 (木)	08:30~17:30	終日視察ツアー
	12:30~12:45	ハリテージローズ会議プレゼン		18:30~21:00	
	13:30~18:00	視察ツアー			
	19:00~22:00	フレンズディナー			
Day 7			Day 6		
11/2 (水)	08:30~18:30	終日視察ツアー	5/23 (金)	08:30~12:00	講義
	19:00~22:00	評議会		12:00~12:20	地域大会プレゼン
				13:00~17:30	視察ツアー
				19:00~22:00	評議会
Day 8			Day 7		
11/3 (木)	08:30~12:20	講義	5/24 (土)	08:00~12:15	講義
	12:20~12:50	世界大会プレゼン		12:15~12:30	ハリテージローズ会議プレゼン
	14:00~16:00	世界バラ会連合 理事会2		12:30~13:00	世界大会プレゼン
	18:00~22:30	ガラディナー・アワード		14:00~16:00	視察ツアー
				14:00~16:00	理事会2
		18:00~22:00		ガラディナー・アワード	



Ⅱ.視察団派遣計画

Ⅱ.視察団派遣内容

1.視察内容

◇実行委員会・大会運営に関する事項

●VIP対応

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	○VIP対応はなし。世界バラ会連合役員自ら進行ディレクター、司会等を行う。 ○VIPの宿泊、移動に際する車両のランクはなく、各自手配、送迎なし。 ○VIPの接遇については、会場の案内を主催者がおこなったり、セレモニーでの冒頭挨拶の時間を設定。 VIP対応スタッフは、大会長、事務局長等が対応。 ○特別なお土産などはなく、協賛会社のワインの進呈。

●全体の来場者数、年齢層、参加国情報

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	聴取り・実地取材
リサーチ内容	○参加者数 361名（うちオンライン参加者数 30名） ○参加国 24か国 ○男女別 同比率 ○年齢別 60歳以上が多数を占める。



●ローズコンテスト、特別展等のプログラム内容と会場装飾の確認

リサーチ対象	運営事務局・実地視察
リサーチ方法	聴取り・現地取材
リサーチ内容	○アレンジ、色彩、ボリューム、種別等で審査。 ○会場設備は右写真のとおり、長机を装飾した上にコンテストの花を設置。ばら、アレンジメントなどが華やかなため、特に会場全体の美術はなかった。但し、ハワイエには花のプロムナードがあったり、絵画の掲示、アレンジメントが5～6点、飾ってあったりした。 ○終了後、会議場入口などの装飾などに活用する。



●各プログラムの参加人数

リサーチ対象	運営事務局・各プログラム運営責任者（受付3名、他は、豪州ばら会が対応）
リサーチ方法	聴取り・現地取材（運営ディレクターにインタビュー撮影実施）
リサーチ内容	○各プログラムの参加は、登録者数と同じ。その人数の中で、各プログラムに分散。

II. 視察団派遣内容

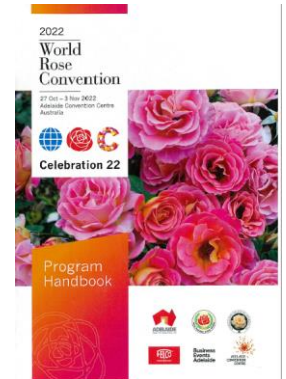
●参加証のデザインと種類

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	現物取得
リサーチ内容	<p>○参加証は1種類で裏面に、参加するコースが記載されている。 IDカードになっているので、常備要。 なお、所属組織や名前が記載されており、参加者同士の交流を深められるよう配慮がなされている。 (参加者名簿も受付時に配布) ○必ず携帯する。</p>



●招待状やチケットについての確認

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	現物取得
リサーチ内容	<p>○招待状・チケットを要するプログラムはなく、IDカードが入場証となる。</p> <p>○招待状・チケットの種類はない。受付時は名乗るだけ。</p> <p>○専任対応スタッフは、3名。 参加者は名乗り、ネームカードとコングレスバッグー式を受け取る。</p>



●ケータリングについての確認(ティータイム、ランチタイムのメニューや会場の設え)

リサーチ対象	運営事務局・各プログラム運営責任者
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○ケータリングは日替わりで構成。講義開始前から協賛会社の協力の元、ドリンクサービスがあった。</p> <p>○提供する食について事前のハラル、ヴィーガン、食品アレルギー対応等の確認は特になかったが、グルテンフリーのメニュー対応は、ガラディナーでなされていた。</p> <p>○椅子、テーブル数が不足しており、衛生への取組は少し、心もとない部分があった。</p> <p>○配膳スタッフは、ティータイム、ランチタイム各10~13人程度を配置。</p>



●参加者間の交流

リサーチ対象	運営事務局・各プログラム運営責任者
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○ティータイム、ランチタイムの際、立食が多かったが、参加者の交流が気軽に行える利点はあった。</p> <p>○IDカードにより、所属組織が確認でき、ファーストコンタクトを取りやすい。</p> <p>○高齢者が多いため、椅子の数は増やした方がよい。 閉鎖的な空間よりも、窓のある空間の方が開放感があり好印象。</p>



Ⅱ.視察団派遣内容

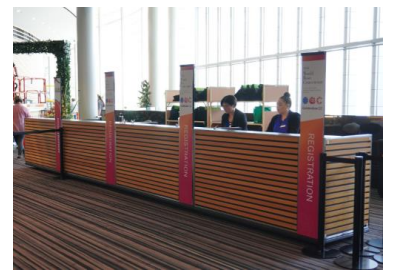
●会場間の移動について(交通関係、道路事情等)

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○移動手段はバスを利用。決められたバスに自由乗車。VIP対応はなし。</p> <p>○ウェルカムパーティーの会場は、公共交通機関を活用し、各自現地へ。</p> <p>○公共交通機関利用のガイドは、講義の終わりに口頭で伝達された。</p> <p>○現地は無料区間のトラムが運行しており、多くの参加者が移動に利用。</p>



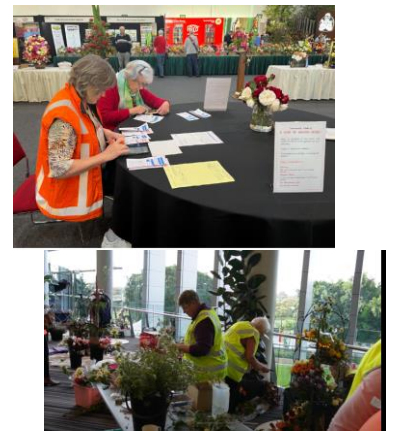
●運営会社について

リサーチ対象	運営事務局・各プログラムの運営責任者
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○運営会社は、オールオケーzungグループが担当。 HP運用、ネット配信、受付業務が主たる業務。</p> <p>○プログラム別のスタッフの数は、正規スタッフ+ボランティア要員。 (基本的には、豪州ばら会の人たちがボランティアで進行、運営していた)</p> <p>○スタッフのホスピタリティ度は高かった。 ○登壇者に対して説明不足のシーンが時折あった。 ○担当者間は、簡易なスケジュール表があったのみ。</p>



●ボランティアの活用状況

リサーチ対象	運営事務局・各プログラムの運営責任者
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○ボランティアは、豪州ばら会の方が対応。</p> <p>○ボランティアは高齢者が多く、受付業務なども担当。</p> <p>○特別なスキルがあるボランティアではなかった。 開催地として、おもてなしをメインとした参加者への対応。</p>



●警備について

リサーチ対象	運営事務局・各プログラムの運営責任者
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○特に厳しい警備はなされていなかった。</p> <p>○オーストラリア総督が来られた際も同行するSPがいたため、会場では特に強化していなかった。</p> <p>○物々しい雰囲気ではなく、会場は終始、やわらかな雰囲気。</p>



Ⅱ.視察団派遣内容

●新型コロナウイルス感染症対策

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○オーストラリア国内への航空機内は、マスク着用は自由対応。</p> <p>○現地はノーマスク。気になる人だけマスクをしていた。感染対策のマニュアルは作成されておらず、ホテルなどで掲示されているのみ。</p> <p>○コンベンションセンターには、除菌液が配置されていた。</p> <p>○医師、看護師は不在であった。</p>



●アプリの活用

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○「ROSE & GARDEN EXPO」のアンケートへ誘導するQRコードの提示があった。</p> <p>○アンケートは、紙とウェブの2種対応。</p>



●大会オリジナルグッズ、コンgresバッグの確認

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材・現物取得
リサーチ内容	<p>○オリジナルグッズは、ペン、ジュリエークのハンドクリーム、お菓子、水、協賛社のパンフレット、名簿。</p> <p>○コンgresバッグはショルダータイプ。</p> <p>○コンgresバッグの配布は、受付時のみ。</p> <p>○女性は、普段持ちなれているバッグを携帯している方が多かった。</p>



●空港・市内の受付登録デスク設置の様子

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○プレツアアでは、ボランティアが旗を掲示して迎えてくれた。</p> <p>○受付登録デスクは、初日はインターコンチネンタルホテルのみ、以降は、アデレードコンベンションセンターのみ。</p> <p>○受付登録デスクは2名程度で対応。</p>

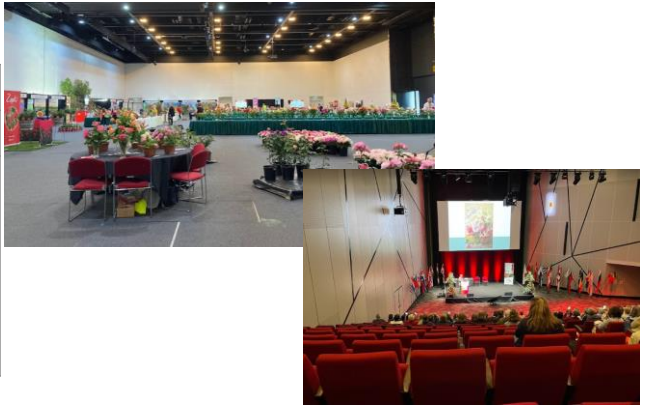


Ⅱ.視察団派遣内容

◇開催内容・会場に関する事項

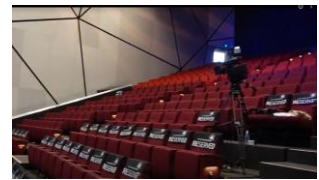
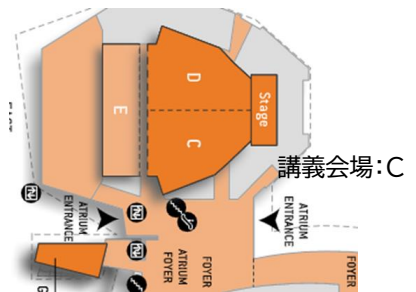
●開催会場の確認

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○1階席のみの使用。1階席のみで600名程度を収容可能。</p> <p>○講義会場は固定とし、モーニングティーなどは、1日目以外は、開放感のあるフロアで実施。</p> <p>○ROSE & GARDEN EXPOの会場も、人数に対して余裕のある会場が使用されていた。</p>



●会場レイアウトの確認、各会場の設営状況、付帯設備チェック

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○舞台上下に参加国の国旗掲揚、ステージの高さは45センチで装飾はシンプル。プレゼンのためにスクリーンを効果的に活用。</p> <p>○技術スタッフのスキルは高かった。ステージ前に60インチ程度のモニター設置。</p> <p>○2階席はクローズドにしており、空席が目立たないように、ロールカーテン状のもので、見えないようにされていた。</p> <p>○リザーブ席を初日は設置されていたが、以降はなし。階段で上の席に移動することが難しかったためか、前方の席に着席する人が多かった。</p>



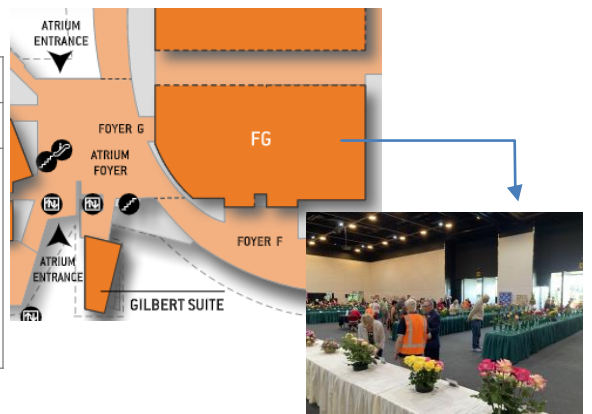
●講義のテーマの設定

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○講義内容は初日は、開催国の講師が行う。テーマに沿い、世界各国の講義を行う。</p> <p>○レクチャーは英語で行うことになっている。今回、特に同時通訳ブース、通訳者は不在。</p> <p>○リハーサルはなく、パソコンの操作方法を司会者からレクチャーされるのみ。</p>



●ROSE & GARDEN EXPOの内容、会場設営の様子

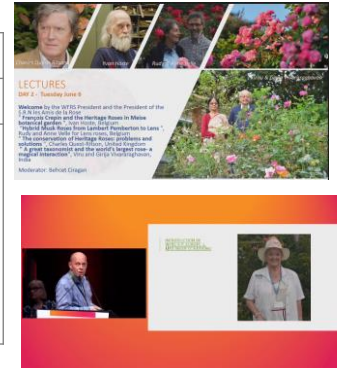
リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○会場面積は、2,158㎡</p> <p>○周辺にブースを配置、150名ほどの座席を配置するステージを設置(上下モニターあり)。会場中央は、ばらのコンテストの花が配置。</p> <p>○案内のボランティアは不在であったが、設置、撤収時には豪州ばら会の会員が携わる。</p>



II. 視察団派遣内容

●各国プレゼンテーションにおける演出方法

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○リハーサルはなく、直前に手元操作の説明のみ。</p> <p>○データは各自持ち込み。プレゼンテーションの内容要旨と同時に提出、或いは当日持ち込みの2パターン。</p> <p>○ステージ上の照明がLEDであったため、照明の演出があまりされておらず、シンプル。会場は常に赤みがかった照明であったため、参加者同士が写真を撮りにくいように見受けられた。(ガラディナーも同様)</p>



●発表者のプレゼンの演出

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○発表者は公表のとおりであったが、11月3日(最終日)の次期開催地のプレゼンテーション前は、パネルディスカッションであり、当日登壇者が発表。</p> <p>○特筆すべき演出手法は、特になし。</p>



●オープニングセレモニー、クロージングの演出・進行プロトコル

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○各セレモニーの冒頭に、政府関係者の挨拶あり。</p> <p>○プロトコルに沿って、進行。</p> <p>○プログラム最初は、開催国の登壇者が好ましい。</p> <p>○シンプルな進行であり、関係者が司会をしていた。</p>



Ⅱ.視察団派遣内容

●アワードの演出

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○関係者以外は参加不可。</p> <p>○ガラディナーで各賞発表。</p> <p>○アワードの進行は、「受賞者を読み上げ～登壇～表彰状の読み上げなし～プレート、記念品の贈呈～フォトセッション」</p> <p>○副賞はワイン。</p>



◇その他留意すべき事項

●ユニークベニューの活用法

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○ユニークベニューに活用された施設は、ばらガーデンがある施設を中心に構成。</p> <p>○歴史的建造物にてウェルカムパーティーを開催。</p> <p>○ユニークベニューでは、会場ボランティアが案内対応。</p>



●SDGs達成への取組

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○ゴミの分別化</p> <p>○プラスチック製品を多用していなかった。</p> <p>○SDGs達成に向けて紙の配布は極力控えていた。</p>



●世界バラ会議の実施についての市民の様子

リサーチ対象	運営事務局・一般市民
リサーチ方法	資料請求・実地取材
リサーチ内容	<p>○アデレード市内で、世界バラ会議のポスターの掲示等はなかった。しかしながら、連携事業として、フラワーデーが2日間、開催される。</p> <p>○視察ツアー先の施設でボランティアの対応があり、参加者を歓迎していた。</p> <p>○アデレード市民のばら栽培は、熱心で、個人宅でもばらのガーデンが見受けられ、視察ツアー先にもなっていた。</p>



Ⅱ.視察団派遣内容

●主催者のホスピタリティと市内の景観計画

リサーチ対象	運営事務局・実地取材
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○多文化共生の視点による施策は特になし。</p> <p>○ガラディナーにおいては、グルテンフリーの記載があった。</p> <p>○道路のバリアフリー化、ユニセックスタイルの配置、Wi-Fiスポットの設置。</p>



●プレス対応

リサーチ対象	運営事務局・実地取材
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○プレスキットの用意なし</p> <p>○プレス専用デスクの設置はなし。専任スタッフも不在。</p> <p>○ROSE & GARDEN EXPO会場内では、地元のラジオ局が取材にきていた。</p>

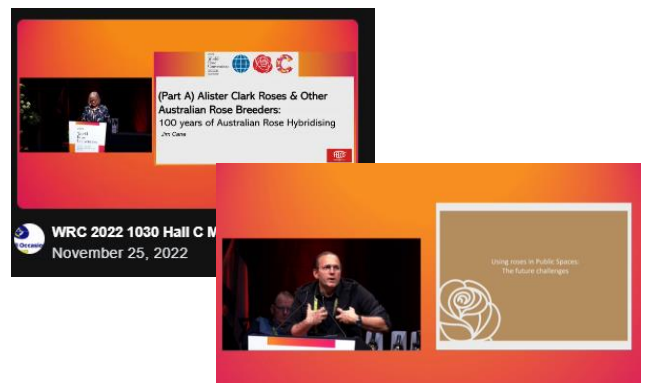


●宿泊施設の状況

リサーチ対象	運営事務局・実地取材
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○広さ、設備、機能（別ページ参照） *長期滞在用アパートメントタイプから、ビジネスホテルまで幅広く斡旋されていた。</p> <p>○会場へのアクセス(会場より徒歩圏内)</p> <p>○市内要所へのアクセス(トラムを使用)</p> <p>○登録・予約した会議参加者向けの特別なホスピタリティ、サービス (大会ホームページから予約した参加者の部屋には、ウェルカムメッセージと花のサービスあり)</p>

●オンライン開催について

リサーチ対象	運営事務局・実地取材
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>○オンライン参加者へのサービスメニュー (オンライン問わず、参加者に後日、視聴自由なサイトの案内あり)</p> <p>○オンライン参加者(30名)</p>



Ⅱ.視察団派遣内容

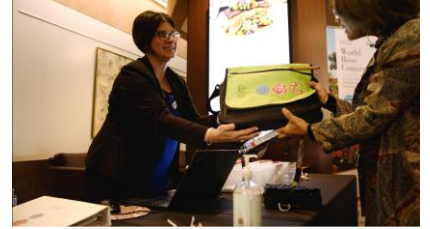
10月27日(木)視察記録画像

◇参加登録受付

◆1日目



◆2日目以降

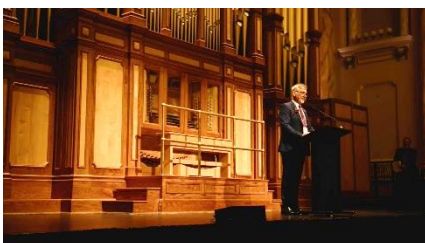


受付スタッフ2人、老練なボランティアスタッフ(豪州ばら会会員)が常時ロビーに待機し、参加者の誘導や質問への回答を実施。参加者同士が再会を喜びあう交流が生まれとても温かい雰囲気だった。

◇ウェルカムパーティー



アデレード市の歴史的建造物。エレベーターは工事中だったが、トイレなど設備は新しい。階段で2階にあがると会場ホール。会場ロビーは非常に広かった。挨拶には豪州ばら会ほかアデレード市観光担当トップが登壇する。

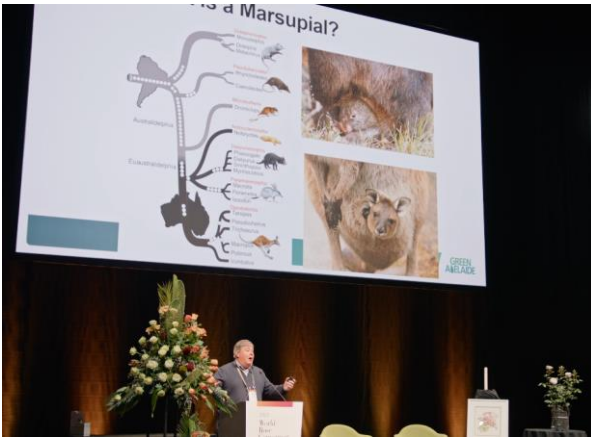


受付スタッフ2人が生ばらのコサージュを手渡す。参加者は早いグループは開場1時間前に到着していた。正式開場と同時にスパークリングワイン、赤白ワイン、ビールなど飲み物のサービスが始まる。ワインは白2種類、赤2種類、スパークリングは1種類、フィンガーフードはカナッペ、チーズ、サンドウィッチ、ミートパイ、ハンバーガーと時間を追ってボリュームを持たせていた。杖、手押し車を持つ参加者あり。壁面はすべて椅子。背の高い丸テーブルの設置はあるが、8台程度であった。

II. 視察団派遣内容

10月28日(金)視察記録画像

◇開会式・表彰・基調講演



開会式では、連合旗、参加国の国旗が掲出される。アボリジニの青年による民族楽器のプレゼン・実演あり。参加国名の読み上げの際、当該国の参加者が立ち上がってアピール。



【殿堂入りばら】

現代ばら部門:(左)
「フラワー・カーペット®・ピンク」
オールドローズ部門:(右)
「コント・ドゥ・シャンボール」

ライティングは基本照明のみ。壁面はばらを意識した照明演出あり。LEDライト特有のチラつきがあり長時間の視聴時は目が疲れる印象を受けた。ステージでは、セッティング・司会・進行はすべて豪州ばら会のメンバー自身で行っていた。

Ⅱ.視察団派遣内容

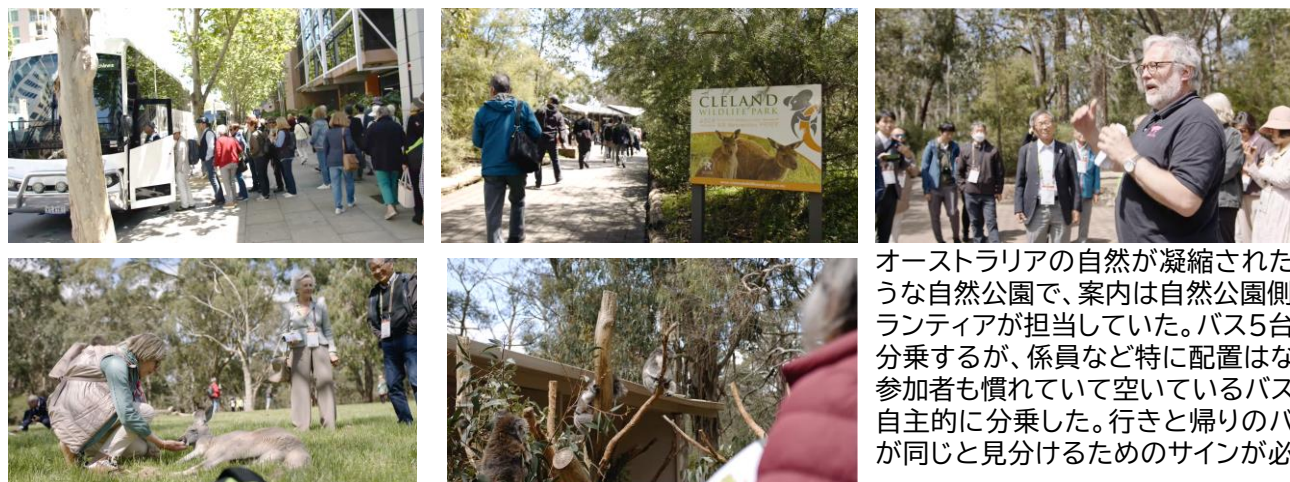
10月28日(金)視察記録画像

◇モーニングティー&ランチ



講義室の隣、ホール面積とほぼ同じスペースでお茶等が振舞われた。給茶ポットと、マシンによるセルフサービス。フィンガーフードは見当たらず。コーヒー、紅茶、ラテ、エスプレッソ、ココアなど振舞われた。椅子・テーブルは少ないが、立ち話で自由に交流できるスペースを広く確保されたいた。

◇視察ツアー

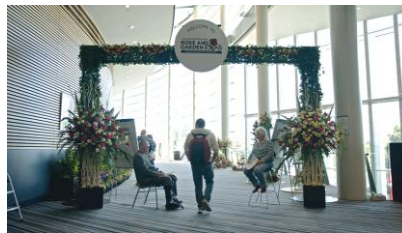
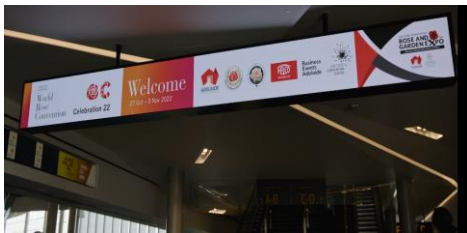


オーストラリアの自然が凝縮されたような自然公園で、案内は自然公園側ボランティアが担当していた。バス5台に分乗するが、係員など特に配置はなし。参加者も慣れていて空いているバスに自主的に分乗した。行きと帰りのバスが同じと見分けるためのサインが必要。

Ⅱ.視察団派遣内容

10月28日(金)視察記録画像

◇ROSE & GARDEN EXPO



スポンサーブース数:29ブース

Ⅱ.視察団派遣内容

10月29日(土)視察記録画像

◇ROSE & GARDEN EXPO グランドオープン～ステージプログラム



南オーストラリア州政府から助成金を受けているため、開会式では南オーストラリア州副首相が登壇し祝辞を述べ、続いて表彰式のトロフィー授与などにも登壇し、花を添えた。



※その他、ROSE&GARDEN EXPO会場ではデイヴィット・ハーリー豪州総督が3時間以上かけて視察。案内役は、ギャビン・ウッズ豪州ばら会会長。SP2名、付き人の軍人1名の他は特別な警備なし。

◇アデレード 同時開催事業 Flower Day (2022年10月28日～29日)



Ⅱ.視察団派遣内容

10月30日(日)視察記録画像

◇オプションツアー

@クレアバレー / @カンガルー島(天候不良により中止)



II. 視察団派遣内容

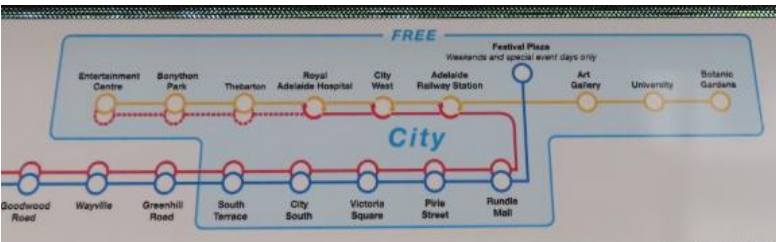
10月30日(日)視察記録画像

◇視察ツアー @南豪州美術館



路面電車無料区間に主要施設・大学などが立地する環境。展示品はとくにばらに関する特別展が組んであるわけではなく、南オーストラリア州の概要がわかるものに加え、現代アートの展示(草間彌生の展示など)も加わっていた。アボリジナルアートは圧巻だった。

◇市内受入環境視察



トラムは、無料区間があり、利便性が高かった。現金の流通はほぼ無し。クレジットカードもしくはスマホのウォレット決済が主流。

Eスクーターは、ステッカーが貼られた指定区域内に駐車し、QRコードで移動の手続きをする必要がある。

II. 視察団派遣内容



ユニセックストイレの設置



バリアフリー



シール式路面標示



【アデレード市議会ホームページから抜粋】

アデレード市は、リサイクルしにくい製品を持続的に処理するためのリサイクル拠点を設置。

家庭のリサイクルボックスには入りきらない、さまざまな家庭用品を受け付けている。

(例: バッテリー、ブリスターパック、メガネ/サングラス、蛍光灯、携帯電話/タブレット/充電器

小型電子機器(例: ヘアドライヤー、電動歯ブラシ、玩具、スピーカーなど)

アデレード市は、オーストラリアで最初のごみゼロ都市になるというビジョンを掲げ、ハブに置かれた物の数や種類を測定するために定期的な監査を行い、より多くの品目を含めることができないか調査を続ける予定である。



Wi-Fi環境は、市内及びコンベンションセンターなどに整備されていた。

Ⅱ.視察団派遣内容

◇市内・郊外 植栽の様子



エリアごとに
色彩が整えら
れている



Ⅱ. 視察団派遣内容

◇ローズガーデンの手入れ・ボランティア



← 寄付の取組の参考事例



↑ グランドをカバーする植物も配置されている



虫を捕まえる装置



Ⅱ.視察団派遣内容

◇ローズガーデンの手入れ・ボランティア



見せる収納法



誘引は
引っ掛けるだけ

市民が週3回のシフト制で、担当エリアの除草や枯れた花の摘み取り等を担うほか、行事でクッキー等のお菓子づくりを行う人、写真撮影し絵葉書を作成する人、会計担当等、得意分野を活かしてばら園の運営に参加し、無理なく取り組める体制とすることでボランティア参加者を増やしている園もあった。

行政は、そうした貢献に感謝し、ボランティアの支えにより公園が管理されていることを看板に表記したり、公園内で使う管理用器具庫を準備していた。

企業の寄付により、ボランティアの活動場所となる屋内スペースが用意されていた箇所もあった。

元気で社会貢献できることに生きがいや誇りに感じる国民性や地域コミュニティに触れた。

また、入園時には寄附箱が置かれ、絵葉書や小冊子の収入を園の管理財産とするなど、あらゆる機会ですべて財源確保に積極的に取り組まれていた。

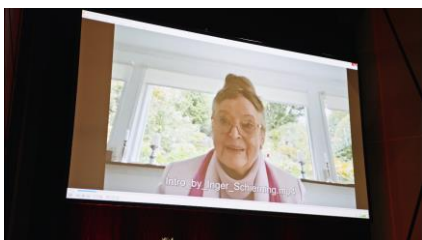
Ⅱ.視察団派遣内容

10月31日(月)視察記録画像

◇講義



◇スウェーデンばら会によるプレゼンテーション



II. 視察団派遣内容

10月31日(月)視察記録画像

◇豪州ばらコンテスト



◇視察ツアー@アデレード植物園



Ⅱ.視察団派遣内容

11月1日(火)視察記録画像

◇講義



◇福山大会 PRブース



Ⅱ.視察団派遣内容

11月1日(火)視察記録画像

◇視察ツアーA プライベートガーデンツアー



※ 11月3日のパブリックビューイング(福山市)用にインタビューを行う

◇視察ツアーB プライベートガーデンツアー



Ⅱ.視察団派遣内容

11月1日(火)視察記録画像

◇世界バラ会連合フレンズディナー



福山市議会議長による
誘客スピーチ



Ⅱ.視察団派遣内容

11月2日(水)視察記録画像

◇1日視察ツアー

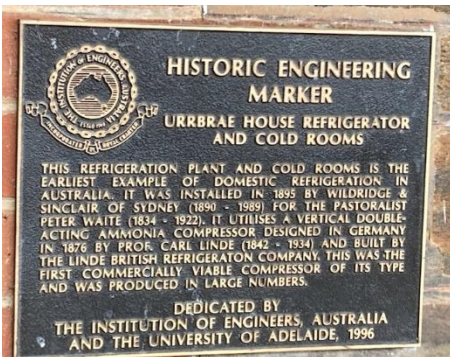
@The Cedars—Auchendarroch House, The Magnolias and Beechwood



Ⅱ.視察団派遣内容

11月2日(水)視察記録画像

◇1日エクスカーシオン@Jurlique Farm Tour, Cheese Tasting & Lunch at Grunthal, House and Gardens Tours at Urrbrae House



Ⅱ.視察団派遣内容

11月3日(木)視察記録画像

◇講義



パネルディスカッション

左から

- ・Doug Grant(NZ)
- ・Thomas Proll(Germany)
- ・Kelvin Trimper AM(Australia)
- ・Matthias Meiland(France)
- ・Richard Walsh(NRA)

最終日の講義、「ばらの未来」と題したパネルディスカッション。福山大会の「Roses for the Future」にもつながる。



◇世界バラ会議福山大会2025プレゼンテーション

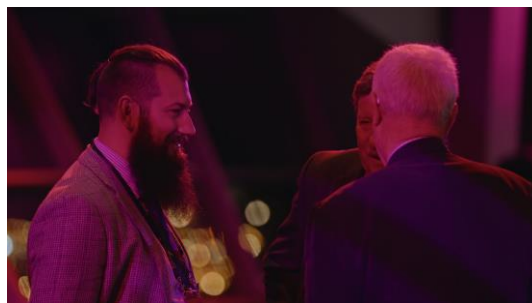


冒頭は、枝広 福山市長が、映像を挟みながら福山のばらの魅力、市民の歓迎の姿勢を示す。プレゼンテーション、映像は好評で、参加者に福山大会の概要が明確に提示された。続いて、志村 日本ばら会理事長のプレゼンテーションが行われ、日本ばら会と皇室とのゆかりも説明され、参加者に深い感銘を与えた。プレゼン後、参加者に感想を聞くと「市民や子どもたちの花壇を観たい、会いたい」など交流を希望する意見、「城や歴史的建造物が見たい」などの意見が多く聞かれた。

Ⅱ.視察団派遣内容

11月3日(木)視察記録画像

◇閉会式・表彰式・ガラディナー



研究者・功労者の表彰、世界バラ会連合旗の引継ぎ式など。
参加者にはドレスコードが敷かれ、会長は世界バラ会連合の頸飾を身に着けるなど
「世界バラ会連合」という組織の格式の高さが示されていた。



Ⅲ.大会プログラム内容

Ⅲ.大会プログラム内容

1.本会議

①世界バラ会連合 各種委員会・会議など

●アデレード大会

日程	時間	行事
10/28(金)	19:00~22:00	理事会1
10/29(土)	08:30~10:00	大会委員会
	10:00~13:00	表彰委員会
10/31(月)	14:00~15:15	国際コンテスト審査委員会
11/2(水)	19:00~22:00	評議会
11/3(木)	11:00~	理事会2

●福山大会

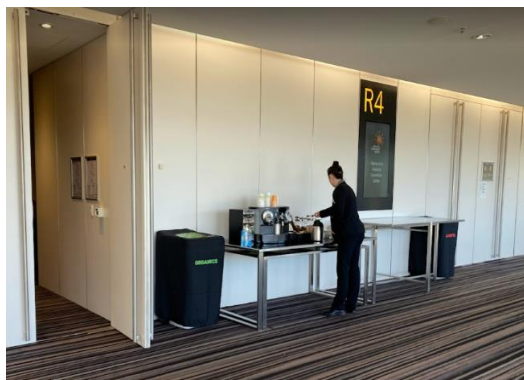
日程	時間	行事
5/17(土)	16:00~17:00	広報委員会
	18:00~20:00	功労委員会
5/18(日)	08:30~11:30	理事会1
	13:00~15:00	出版委員会
	15:30~17:30	分類登録委員会
5/19(月)	14:00~16:00	ヘリテージローズ保存委員会
	16:00~18:00	各賞(表彰)委員会
	19:00~22:00	大会開催委員会
5/20(火)	18:00~20:00	国際審査委員会
	20:15~22:15	ブリーダーズクラブ 国際ばらコンテスト委員会
5/23(金)	19:00~22:00	評議会
5/24(土)	14:00~16:00	理事会2



世界バラ会連合理事会等の各種委員会・会議は、クローズドで行われるのが基本である。また、事前にCommittee meetingをリモートで終えていた。

リアルで意見交換を行い、採決を必要とする会議のみ、会期中に開催された。

上の写真は、会場のセッティングの様子。理事会メンバー用のケータリングは、会場外に設置されていた。



Ⅲ.大会プログラム内容

②講義

●アデレード大会

日程	時間	講義
10/28(金)	11:35~	基調講演① 『オーストラリアの動植物と人間の影響』 (クリス・ダニエルズ教授)
10/31(月)	08:30~	講義② 『オーストラリアのガーデニングの歴史』 (トレバー・ノットル)
	09:20~	講義③ 『豪州をばらの世界図に載せるにあたっての David Rustonの役割』 (スー・ツヴァール)
	10:55~	講義④ 『アリスター・クラーク・ローズ及び豪州のばらの 育種家:豪州ばらの交配の100年 (partA)』(ジム・ケーン)
	11:40~	講義⑤ 『アリスター・クラーク・ローズ及び豪州のばらの 育種家:豪州ばらの交配の100年(partB)』 (テト・ハンコックス)
11/1(火)	08:30~	講義⑥ 『ニュージーランドのばら園, ばら, 育種家』 (ダグ・グラント, ハイデン・フォールツ)
	09:20	講義⑦ 『リヨン及びその他の場所からのばら園:公園, 庭園, 及び本市における重要性』 (ダニエル・ブーランズ)
	10:35~	講義⑧『今日の庭園におけるシュラブローズ (低木のばら):公共空間におけるシュラブロー ズの活用の新旧』(マティアス・メイアン)
	11:25~	講義⑨ 『激動の時代におけるばら会 アメリカローズ 会の130年の歴史』 (ダイアン・ソマーズ)
	12:10~	講義⑩ 『杉の庭とばらの絵画の歴史:ハンス・ハイゼン卿 とノラ・ハイゼン:「ザ・セダーズ」の庭と絵画に描 かれたばらの歴史』(アラン・キャンベル)
11/3(木)	08:30~	講義⑪ 『ばらの飲料水』 (ローズ・ケンティッシュ)
	09:10~	講義⑫ 『新しいばらのスタイル:未来に向けて珍しいば らの花を咲かせよう』(トーマス・プロール)
	10:30~	講義⑬ 『データベースとばら:ばら属, ばらの系統 データベース』(ジャック・ムーショット)
	10:30~12:10	講義⑭ 『ブリーダーズパネル』

●福山大会

日程	時間	講義
5/20(火)	08:30~09:10	講義①(40')
	09:15~09:55	講義②(40')
	10:30~11:10	講義③(40')
	11:15~11:55	講義④(40')
5/21(水)	08:30~09:10	講義⑤(40')
	09:15~09:55	講義⑥(40')
	10:30~11:10	講義⑦(40')
5/23(金)	11:15~11:55	講義⑧(40')
	08:30~09:10	講義⑨(40')
	09:15~09:55	講義⑩(40')
	10:30~11:10	講義⑪(40')
	11:15~11:55	講義⑫(40')
5/24(土)	08:00~08:40	講義⑬(40')
	08:45~09:30	講義⑭(40')
	10:00~10:45	講義⑮(40')
	10:45~12:15	講義⑯『ブリーダーズパネル』

Ⅲ.大会プログラム内容

■講義内容【アデレード大会 プログラムハンドブックより】



Chris Daniels, Photo Credit: The Advertiser

基調講演①	10/28(金) 11:35~12:30
講演者	クリス・ダニエルズ
演題	オーストラリアの動植物と人間の影響

クリス・ダニエルズ教授は、インターナショナル・コアラ・センター・オブ・エクセレンスの最高経営責任者であり、クレランド野生動物公園の最高戦略顧問を務めています。また、UniSAの薬学・医学部生物学の非常勤教授、アデレード大学の動物学の非常勤教授でもあります。2020年、南オーストラリア州政府の「グリーン・アデレード」景観委員会の議長メンバーに任命される。野生動物保護と人と自然をつなぐことを中心とした環境リーダーシップ活動が評価されています。オーストラリアは、人が住む大陸の中で最も乾燥し、最も暑い国です。私たちのユニークな動植物は、変化する気候条件の中で何百万年もかけて進化してきました。最近では、外国人入植者が農業、鉱業、林業、入植地や都市の設立のために自然の景観を大きく変えたことで、先住民の動植物に影響が及んでいます。

クリス・ダニエルズ教授は、国際的に高く評価されている著名な都市生態学者であり、作家でもあります。20年以上にわたり、オーストラリアのユニークな動植物と人工環境との相互作用について解説し、その知識、ウィット、スキルで聴衆を楽しませ、情報を提供してきました。2021年8月、アドバタイザー紙(南オーストラリア州の主要日刊紙)が招集した独立審査委員会は、クリスを州で最も影響力のある50人の環境保護主義者の第2位に選出しました。この基調講演では、オーストラリアのユニークな生息地とオーストラリアを故郷とする動物や植物を紹介するとともに、自然環境に対する人間の影響の変化についても探ります。

MEMO

オーストラリア大陸の多彩でユニークな生態系についての講義。
地殻変動で切り離され独自の進化を遂げていった生態系・植物相を体系的に説明。
生命多様性の重要性など示唆した。



講義②	10/31(月) 8:30~9:20
講演者	トレバー・ヌットル
演題	オーストラリア ガーデニングの歴史

アデレード在住のトレバー・ヌットルは、ランドスケープ・アーキテクチャーの修士号を取得しています。45年以上のキャリアを持つトレバーは、ガーデニングデザインとプラントマンシップに対する地中海的なアプローチを培ってきました。2020年には、南オーストラリア州マスターランドスケープーズから、業界への卓越した生涯貢献に対して「フランク・ウゴディ賞」を授与されました。

トレバーは、著者、園芸コンサルタント、講演者、庭園史家として高く評価されています。「太陽の庭」、「Growing Old Fashioned Roses」、「Plants for Mediterranean Climate Gardens」、「Old Fashioned Gardens」、「The New Cottage Garden」など、19冊の著書があります。また、ラジオ番組やソーシャルメディア、ガーデニング雑誌に定期的に寄稿し、変化する気候の中で持続可能なガーデニングを推進し続けています。

ヨーロッパやアジアの古い国々と比較すると比較的短い歴史ですが、233年の間に、先住民の慣習から前例のない変化がありました。近年の研究により、アングロ・ヨーロッパの定説に反して、アボリジニが行っていた様々な形の「園芸」があることが分かってきました。講義はこの点から始まります。

MEMO

234年前の移民と同時に始まったオーストラリア・ガーデニング史を、大航海時代の時代背景を踏まえて丁寧に説明。「食べるために植えるもの」と「ばらの栽培」が平行的に行われていたことなど、オーストラリア人のガーデニングの価値観について説明。

Ⅲ.大会プログラム内容



Sue Zwar, Photo Credit: John Zwar

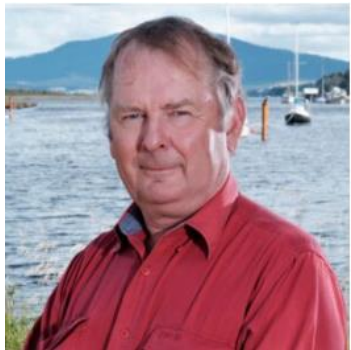
講義③	10/31(月) 9:20~10:05
講演者	スー・ツヴァール
演題	豪州をばらの世界図に載せるにあたってのDavid Rustonの役割

スー・ツヴァールは、夫のジョンとともに、南オーストラリア州南東部の高級ワイン産地クナワラで、過去45年間にわたり広大な庭造りを行ってきた情熱的なガーデナーです。この庭は現在約3.5ヘクタールあり、多種多様な樹木、低木、伝統的なばらが植えられています。また、ペノーラやクナワラ近郊の公共ばら園の開発・管理も行っています。スーは、南アメリカのばら会南東支部の設立に貢献し、初代事務局長を務めました。また、2012年にマウント・ガンビアで開催された第11回全国ヘリテージ・ローズ会議の企画・運営をジョンと共同で行っています。南オーストラリア州ばら会の終身会員です。

スーは、デイヴィッド・ラストンOAMの生誕地でもあるレンマークで生まれ、2008年にデイヴィッドとともに彼の生涯についての本を書き始め、2年以上かけて完成させました。デイヴィッドとの密接な関係から、スーさんは、デイヴィッドがばらをはじめとする園芸植物の百科全書的な知識と、その知識を惜しみなく分かち合う姿勢によって、ばら界にとっていかに重要な存在であるかを強く認識するようになりました。

MEMO

亡き夫とともに創り上げた庭園について写真つきで説明。広大な敷地を苦勞して庭園に。創り上げてから維持管理、ヘリテージローズへの情熱について。夫婦のきずなが作り上げたのは庭だけでなく広い交流。フラワーアレンジメント普及の貢献など。



講義④	10/31(月) 10:55~11:40
講演者	ジム・ケイン
演題	オーストラリア ばらの交配100年 「ばらコレクションへの貢献」

アリスター・クラークをはじめとするオーストラリアのばら育種家たち・オーストラリアン・ローズ・ハイブリダイジングの100年(パートA)

ジム・ケインは、自然界、特に植物とその生息環境に生涯関心を持ち続け、その結果、ホバートの王立タスマニア植物園(RTBG)で園芸のプロとしての長いキャリアを築きました。1973年に研修生として入社し、園芸学のディプロマを取得した後、園長代理を含む多くの役職を経て、36年後に退職しました。この間、ジムはばらに特別な関心を持ち、RTBGのばら・コレクションの拡充に貢献した。1995年にはチャーチル奨学金を得て、ドイツのヨーロッパ・ロザリウム・ザンガーハウゼン、エディンバラ王立植物園、ケープタウンのカーステンボッシュ国立植物園、ロンドンのキュー王立植物園などで、植物園やばら園の運営を学びました。キュー王立植物園では、植物園管理の国際ディプロマを取得しました。ばらをはじめとする植物への愛情が、イギリス、ヨーロッパ、中国、チベット、ブータン、チリ、アルゼンチン、ニュージーランド、カナダなど世界中を旅する原動力となっています。王立園芸協会(英国)、アルパインガーデン協会(英国)、国際デンドロジー協会(英国)、オーストラリアのヘリテージローズ、南オーストラリア州ばら会のメンバー。2001年から継続してオーストラリア全国ばら会(NRSA)の名譽会計を務め、現在は2022年WFRS世界ばら大会の会計を担当しています。2008年にはNRSAへの優れた貢献に対してサービスマダルを、2018年にはオーストラリア・ローズ賞を、2020年にはTA Stewart Memorial Award (SMA)を授与されています。タスマニアで引退生活を楽しみながら、ジムは広くて広大な庭で100近いばらを育て、また、混血牛の小さな群れと一緒に家族の農場を経営しています。

MEMO

視察ツアーで訪れるカークヒルの開拓の歴史とオーストラリアで開発されたばら品種についての説明。
見たことが無い品種が多く取り上げられていた。熱心に写真を撮る参加者多数。

Ⅲ.大会プログラム内容



講義⑤	10/31(月) 11:40~12:20
講演者	テイト・ハンコックス
演題	オーストラリア ばらの交配100年「ばらコレクションへの研究と貢献」

アリストター・クラーク・ローズとその他のオーストラリアン・ローズ・ブリーダーズ - オーストラリアのばらの交配100年(パートB)

テイト・ハンコックスは、幼い頃から両親の庭仕事を手伝っていた熱心な園芸家であり、ばらの栽培家でもあります。原種からモダンなシュラブローズまで、約160種のばらを含む1,000種以上の植物を育てています。また、古い園芸道具や書籍、記念品などを収集し、園芸学や植物学の歴史におけるこれらの重要なアイテムを修復・保護しています。

2018年、アデレード大学にて植物学と土壌学を専攻し、理学士号(上級)を取得。2022年、南オーストラリア州の生物活性ハチミツ生産のためのLeptospermumに関する博士論文を審査に提出。

大学の勉強を終えるだけでなく、テイトは南オーストラリア州のばら会の会員として活躍しています。アデレード植物園の国際ばら園とオーストラリア全国ばら試験ガーデン、そしてアデレード大学の20世紀ばら園でボランティアをしています。また、南オーストラリア州ばら会の公認剪定師でもあり、公開剪定デモンストレーションのアシスタントも務めています。剪定はテイトがばら栽培で最も好きな部分であり、2017年にはGardening Australiaでこのテーマでテレビ番組を撮影しました。

MEMO

冒頭で、この土地(アデレード市)が、カウルナ族の伝統的な土地であること。彼らの国との精神的な関係について、彼らの文化的・遺産的な信条の重要性を認識したうえで説明を始める。1900年代から開発されたばら品種について年代ごとに紹介、その特徴に注目しながら解説。オーストラリアを代表するブリーダーについても細やかに紹介。ジュリークファームにも協力を受けている。



講義⑥	11/1(火) 8:30~9:20
講演者	ダグ・グラント(NZ)
演題	オーストラリア ばらの交配100年「ばらコレクションへの貢献」

ニュージーランドのばら園、ばらとブリーダーたち

ダグ・グラントは、1998年 - 2001年、2014年 - 2018年にニュージーランドばら会の会長を務めています。彼は2015年に世界バラ会連合のオーストラレーシア担当副会長の一人として任期を開始しました。同年、ダグのリーダーシップと卓越した貢献が認められ、ニュージーランドばら会への貢献に対してWFRSワールドローズアワードが授与されました。成功したばら育種家である彼は、フランクリン地区ばら会の長年のメンバーであり、長年にわたって全国レベルで多くの役割を担ってきました。ダグさんは、遺伝学と植物育種を専門とする科学者、コンサルタントとして活躍されています。

ダグ・グラントのプレゼンテーションは、ハイデン・フールドが紹介するニュージーランドのローズガーデン、革新的なばら、そしてニュージーランドのばらの育種家の紹介とシームレスに融合しています。特に、20世紀の偉大なばら育種家の一人で、ばら育種の世界的リーダーとなり、植物品種権の確立に貢献したサム・マグレディ4世博士に賞辞を贈ります。

MEMO

ニュージーランドのばら品種や庭園、特徴などを紹介。

Ⅲ.大会プログラム内容



講義⑥	11/1(火) 8:30~9:20
講演者	ヘイデン・フォールズ(NZ)
演題	オーストラリア ばらの交配100年「ばらコレクションへの貢献」

ニュージーランドのばら園、ばらとブリーダーたち

ヘイデン・フォールズは、ニュージーランドばら会の現会長であり、2つの出版物の編集者とウェブマスターを兼任しています。1995年以来、マナワツばら会のメンバーであり、現在はその会長です。ヘイデンは、パーマストンノースのNZRS国際ばらコンテストにも深く関わっています。2019年、ヘイデンはオーストラリアとニュージーランドのばらへの貢献に対してT.A Stewart Memorial Awardを授与されました。ヘイデンは、日本、オーストラリア、カナダ、南アフリカ、フランス、ニュージーランドのWFRSイベントに出席しています。ヘイデンは、原生植物ナーセリーでプロダクションマネージャーを務めています。

ヘイデンは、ニュージーランドのばら園を特集したプレゼンテーションを行う予定です。このプレゼンテーションでは、ニュージーランドの最高のばら園を紹介し、ニュージーランド産のばらとニュージーランドのばら生産者を紹介します。

MEMO

ニュージーランドのばら育種家11人と代表品種を紹介。



講義⑦	11/1(火) 9:20~10:05
講演者	ダニエル・ブーランズ
演題	リヨンとその他の場所のばら園:公園と庭園、そして都市にとっての重要性について リヨンのばらと都市空間

ダニエル・ブーランズは、退職したばかりですが、その職歴のすべてを公共の公園と庭園の分野で過ごしてきました。前職では、フランスのリヨンの植物園や動物園を含む公共公園・庭園のディレクターを務めていました。2001年からは、公共緑地における化学物質の使用を禁止するための戦略を策定。そして2007年以降、リヨンの公共スペースでは化学薬品が一切使用されなくなったのです。これは模範的なことです。

ダニエルは、フランス、ヨーロッパ、そして世界各国(日本、中国、オーストラリアなど)の会議で、これらの新しい技術を熱心に広めています。ダニエル・ブーランズは、フランスばら会とフランスヘリテージローズ会(Heritage Roses Anciennes en France)の主要メンバーであり、尊敬を集めています。また、リヨンやヨーロッパ数カ国で開催されるばら裁判の国際審査員でもあります。

2015年、ダニエルはリヨンで開催された第17回WFRS世界大会の開催を支援しました。この素晴らしい大会と、半年間にわたって600以上のばら関連イベントでリヨンを活性化させた国際ばら祭りは、誰もが記憶に残っています。ダニエルは、自然、庭師、花との友情が常に存在する美しい出会いを通じて、ばらと世界のばら園への情熱を皆さんにお伝えします。

MEMO

リヨンの街の成り立ち、2015年に開催されたリヨンのばらショーの様子、街なかのばらの植栽、芸術的なデコレーション事例を細やかに解説。生活、文化、すべてにばらがある。公共および個人の庭園は環境に配慮した方法で栽培され管理されなければならない。環境にやさしい方法で天然資源を節約し化学薬品の使用量を減らすことで生態系のバランスと生物多様性の発展に貢献しようと提唱。

Ⅲ.大会プログラム内容



講義⑧	11/1(火) 10:35~11:25
講演者	マティアス・メイアン
演題	今日の庭園におけるシュラブローズ(低木ばら)。公共空間における新旧のシュラブローズの利用法 公共空間における新旧のばら

マティアス・メイアンは、世界で最も有名なばら一族のひとつであるフランスのメイアン家の6代目にあたります。メイアンインターナショナルは、切り花産業や庭木、造園用に革新的なばら品種を生み出しています。世界62カ国に代理店を持つメイアンド・インターナショナルは、ばらの世界におけるリーダー的存在です。

1977年に生まれたマティアス・メイアンは、4歳のとき、南仏アンティーブの育種場で祖母ルイエット・メイアンの指導のもと、ばらの育種を学び始めました。7歳のとき、自分の名前をつけたばらを指名され、「メイフォルリオ」が最初のセクションになりました。10代の頃、父アラン・メイアンが切り花産業を発展させている間、中南米について行った。カリフォルニアで学び、映像制作会社を立ち上げた後、2013年にマティアスが家業に加わり、メイアンハウスの広報を担当するようになりました。現在ではマーケティング部門を管理し、アジアやオセアニア地域で既存・新規市場の開拓を行うことが多くなっています。

マティアスのプレゼンテーションでは、世界各国の公共空間におけるランドスケープローズの利用を紹介するツアーをお楽しみください。1970年代に初めてばらを使った造園が業界に革命を起こしたことから、現在では造園の新しいトレンドを紹介し、私たちのお気に入りの花を都市部に取り入れ、その利点を強調しています。

MEMO

世界中にばら畑を持つメイアン家だからこそできる強いばらの品種改良、強いばらの特徴と公共スペースでの展開、都市空間の活性化に使われるばらのトレンドと最新品種について。



講義⑨	11/1(火) 11:25~12:10
講演者	ダイアン・ソマーズ
演題	激動の時代におけるばら会 アメリカばら会の130年の歴史

2021年、ダイアン・ソマーズは第57代アメリカばら会会長として3年間の任期を開始しました。40年以上のばら栽培家であるダイアンさんのウィスコンシン州にある新しい庭には、170種以上のばらが植えられています。これまで、ARS会計、NCD地区ディレクター、第5地域ディレクターを歴任し、多くの委員会の委員長を務める。最近では、戦略計画委員会の委員長として、コンサルティング・ロザリアン、地域のばら会、会員のために、質の高いプログラムや講演へのアクセスを向上させる技術ソリューションの導入を率先した。

地元ばら会2団体の元会長であり、ノースセントラル地区、ミルウォーキーばら会、ウォーキーばら会への多大な貢献により、ARSシルバー名誉賞、ブロンズ名誉賞2回を受賞している。また、地区での貢献が認められ、Outstanding Consulting Rosarian Award と Outstanding Judge Award を受賞しています。また、ARSマスターロザリアン、園芸・アレンジメント審査員としても活躍しています。

アメリカばら会は、2022年に130周年を迎えます。これは大変な快挙であり、祝うべき時であると同時に、将来に向けた戦略的な投資を行うべき時です。ガーデニングの人気が高まり、ばらの品種の品質や種類も増え続けています。ARSの会長であるダイアン・ソマーズが、ARSが会員とガーデニングコミュニティに価値を提供し、今日の世界で適切な存在であり続けるために行っている活動を紹介いたします。

MEMO

アメリカばら会のリーダーとして、ばら会をビジネスとして運営することの必要性や活動内容の概要とパンデミック下での活動「バーチャルコンサルティング」について説明。
地域のばら会をサポートし、いかに成長させるか(会員数を増やすか)。
そのためのツールとしてのテクノロジー(SNSなど)についての実践と考察。

Ⅲ.大会プログラム内容



講義⑩	11/1(火) 12:10~12:30
講演者	アラン・キャンベル
演題	ハンス・ハイセン卿とノラ・ハイセン:「ザ・セダーズ」の庭と絵画に描かれたばらの歴史

アラン・キャンベルは、ハンス・ハイセンがハートドルフに所有していた壮大な邸宅「The Cedars」のキュレーターであり、現在はハンス・ハイセン財団の管理下にあります。アランは、ウロンゴン教員養成学校、ウロンゴン大学、ニューサウスウェールズ大学で教職に就き、ライド園芸学校で園芸と景観デザインを学び、国立芸術学校で美術を学びました。1980年にアデレードに移住し、アデレード・ヒルズで植物苗木の小売と景観デザインのコンサルティングを専門に行う会社を設立しました。1994年からは、教育、庭園、美術に情熱を傾け、ハンス&ノラ・ハイセン財団のコレクションを管理・推進しています。アランは、自然保護、環境、芸術への貢献により、OAMとセンテナリーメダルを授与されています。

MEMO

ハンス・ハイセン卿とノラ・ハイセン卿の歴史的な庭に咲いたばら「シダーズ」と、絵画に描かれたばらについての比較と考察。



講義⑪	11/3(木) 8:30~9:10
講演者	ローズ・ケンティッシュ
演題	ばらの飲料水

ローズ・ケンティッシュは、南オーストラリア州の受賞歴のあるワインメーカー兼農家です。彼女は、1998年からワインを、2010年からスピリッツを造っており、フランスのグラスでレベル2の勉強をしてから、香水にも手を出しています。彼女のワインは、オーストラリアのトップクラスの評論家から「これらはカルトワインだ」(Decanter)、「カルトワインを待っている」(Max Allen)など熱烈な賞賛を受け、ローズが第1回 AWIW Australian Winemaker of the Year 2015に選ばれるなど、数々の賞を獲得しています。2016年、ローズは目的のための醸造会社であるSparkkeを共同設立しました。そして2020年、彼女は熟成された醸造品とばらを含む地元のボタニカルから作られた一連のスピリッツを世に送り出しました。2020年半ば、ローズと彼女の夫はカンガルー島に農場を購入し、山火事で破壊された土地を再び生産できるようにするために取り組んでいます。そこでは、将来的に蒸留や香水に使用するためのボタニカルを植えたいと考えているそうです。ローズの香りと風味への情熱は、飲料にばらを使うことに興味を抱かせる原動力となりました。ばらの香りと、彼女が花びらから抽出した繊細なエッセンシャルオイルによる風味は、現在市販されているさまざまな飲料をより良いものにしていきます。この講義では、ローズ・ケンティッシュが長年にわたって魅了されてきた、ばらから純粋なエッセンシャルオイルを抽出するための蒸留方法について、示唆に富んだレクチャーを展開します。ローズ・ケンティッシュは、香水の勉強をきっかけに、5リットルの試験用スチルと200リットルの生産用スチルの両方で、ローズオイルの抽出を実践的に行うことに興味を持ち、集中的に取り組みました。何度も試作を重ね、様々な品種のばらを試し、究極の香りと風味を抽出することに成功しました。ばらの色、品種、ばらのライフサイクル、スチルに入れるばらの位置など、すべてが結果に影響しました。ローズはばらの花びらのオイルを使って、ジン、ウォッカ、ベルモットを作りました。この結果は魅力的だが、まだ多くの実験の始まりに過ぎません。そして、その試みは続くが、市販されている飲料は、飲料におけるばらの繊細で微妙な、そしておいしい特質を証明するものではありません。これらの飲料の詳細と購入については、www.fullcirclespirits.com.au をご覧ください。

MEMO

味と香りへの愛情をはぐくんだ生い立ちと、製品化にむけたトライ&エラーの実例、たどりついたボタニカルなジン製品、ワイルドローズリキュールは有機栽培で育てられた新鮮なばらが原料。香りと風味を通して、もしかしたら次は香水を開発するかもしれない。

Ⅲ.大会プログラム内容



講義⑫	11/3(木) 8:30~9:10
講演者	トーマス・ポロル
演題	新しいばらのスタイル:未来に向けて珍しいばらの花を咲かせよう

トーマス・ポロルはドイツのバウムシュテットに生まれ、後に彼の雇用主となるW.コルデス社にほど近い場所で育ちました。ハノーファー大学で園芸科学の学位を取得し、「ローザ種と交配種のうどんこ病に対する抵抗性と感受性」という論文を発表しました。トーマスは過去25年間、コルデス・ローズ社に勤務しています。1887年に設立されたこの家族経営の会社は、5世代にわたって世界最高峰のばらを生産しています。1998年からは育種部門の責任者として、新しい園芸品種や鉢ばらの開発を担当し、現在はガーデンばらの育種に専念しています。コルデス・ローズは20年以上にわたり、耐病性の高いばらの生産に注力し、オーストラリアをはじめ、世界中のばら試験場で多くの成功を収めている。

MEMO

開発するばらの系譜などをモダンローズの系譜で紹介。
現在、取り組む多種多様な最新品種のトレンドを紹介。



講義⑬	11/3(木) 10:30~11:15
講演者	スティーブ・ジョーンズ
演題	世界中でばらを祝う

アメリカのスティーブ・ジョーンズが、「世界のばらを祝う」というテーマで講演します。世界中のばらの祝い方、ネットワーク、様々なばら園の紹介など、新しい情報を講演します。スティーブと妻のスージーは、楽しみ、食べ物、ワイン、そしてもちろんばらを求め、世界中を旅しています。旅行先では、その土地のばら園を探し、散策します。これまでに世界約60カ国を訪問したそうです。

WFRS World Rose Newsの現編集長、WFRS元会長(2012~2015年)、アメリカばら会元会長(2006~2009年)。また、ARS誌のコラム「Roses Abroad」のコーディネーターとして、世界各国の自国のばらに関する記事を紹介している。

2022年世界バラ会議のテーマは「セレブレーション'22」-ばらの育種や栽培から、飲料、芸術、風景、ファッションの中のばらまで、ばらの世界を祝福するものです。アデレードでスティーブ・ジョーンズに参加していただくのは、レクチャーシリーズのハイライトとなるでしょう。

*スティーブ・ジョーンズは、アブストラクト集に詳細の記載が無かったため、アメリカばら会のフェイスブックから引用

MEMO

野生ばらの生息分布がすべて北半球の赤道直下から60度線までに分布していること。
ばらにちなんだ神話、ばらやばらの花びらを使ったお祝いの儀式的歴史、現代に伝わる
世界中のばら祭の紹介など。

Ⅲ.大会プログラム内容



講義④	11/3(木) 11:15~12:20
講演者	ケルビン・トリンパー
演題	オーストラリアと世界のバラの育種家

ケルビン・トリンパーは、50年以上のガーデニングとバラ栽培の経験を持つ、有名で情熱的なロザリアンです。世界バラ会連合(World Federation of Rose Societies)の元会長であり、オーストラリア国立バラ会(National Rose Society of Australia)と南オーストラリアバラ会(Rose Society of South Australia)の元会長で、2012年に終身会員に認定されています。南オーストラリア植物園の元副会長。南オーストラリア州のナーセリー・アンド・ガーデンインダストリーの元副会長で、名誉賞受賞者。

2012年オーストラリアン・ローズ・アワード、2013年T.A.スチュワート記念賞(バラへの貢献に対して)を受賞。2010年からラジオにレギュラー出演、2011年からバラに関する記事を多数執筆。

南オーストラリア大学のフェロー、オーストラリア都市開発研究所のフェロー。2018年にオーストラリア勲章(AM)会員に任命され、そのリーダーシップと並々ならぬ貢献が認められた。

MEMO

座談会形式。①大会で印象に残った出来事について、②バラが最も人気である花でありつづけるためにどうしたらいいか？③バラの需要を維持するための品種改良とそのトレンド④これからの未来にむかうバラの特徴...などを議論。

Ⅲ.大会プログラム内容

③開会式・ウェルカムパーティー

■開会式の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<ul style="list-style-type: none"> ■会場に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○会場の収容人員 ○会場装飾・ステージ装飾（参加国の国旗:ステージ上下に配置） ○会場内の特設コンテンツ（世界パラ会連合の旗の掲揚あり） ○協賛社の取り扱い（会場のスクリーン、プログラム、HP等に掲出） ■参加者に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○来場者数▶主催者発表の確認 （361人の参加者数 うちヴァーチャル登録30人） ○参加方法（事前に登録フォームより入力） ○受付方法（IDカード持参で入場） ○ドレスコード（特に無し） ○参加者への接遇（特に無し） ■開会式の進行に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○進行プロトコル （主催者挨拶、アトラクション等、和やかな雰囲気をつくる式次第であった） ○登壇者（ケルビン・トリンパーさん、ギャビン・ウッズさん、ダイアン・ヴォンバーグさん） ○司会者・進行人数（ダイアン・ヴォンバーグさんが進行） ○特筆すべき演出 （豪州パラ会の人たちが、自ら進行役やディレクター業務を行っていた） ■開会式の運営に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○スタッフの配置、感染症対策、警備体制などについては、大げさない。 ○案内、誘導方法(ご年配の人たちは階段下のステージ近くに誘導) ○プレス対応(特に専任者はおらず、ケルビン・トリンパーさん、ギャビン・ウッズさんが対応)

■ウェルカムパーティーの視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<ul style="list-style-type: none"> ■会場に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○会場の収容人員（300人程度の収容数:1フロアのみ） ○会場装飾（卓上テーブルにばらとろうそくの演出のみ） ■参加者に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○来場者数▶主催者発表の確認（約150名程度） ○参加者（登録者のみ） ○受付方法（受付で生ばらの手作りブローチを受け取るのみ） ○ドレスコード(正装) ○参加者への接遇(特になし) ■ウェルカムパーティーの進行に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○進行プロトコル（主催者、政府関係者の挨拶のみ） ○司会者・進行人数(専門の司会者は設けず、豪州パラ会が担当) ■ウェルカムパーティーの運営に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ○ケータリング内容(ハラル、ヴィーガン対策は特になく、アルコールの種類はワイン、ビールなど豊富であった) ○スタッフの配置(ケータリングスタッフのみ) ○感染症対策、警備体制(日本ほど厳しくない) ○案内、誘導方法(参加者が自由に会場内でくつろぐ) ○車椅子、障がい者への接遇（特に無し） ○プレス対応(専用デスク、スタッフなし)

④視察ツアー

■視察ツアーの視察ポイント

リサーチ対象	実地視察
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>■10月28日(金) 13:30~17:00</p> <p>○訪問先、交流内容 クルランド保護公園 入園の際、レクチャーあり。園内は1時間かけてゆっくり自由に散策する。 土産店は、物価高もあり、購入者は少なかった。 ドリンクは各自、売店で注文していた。</p> <p>■10月30日(日) 終日</p> <p>○訪問先 クレアバレー</p> <p>○訪問先 カンガルー島(天候不良のため中止)</p> <p>■10月31日(月) 13:15~15:15</p> <p>○訪問先、交流内容 アデレードボタニックガーデン ・審査員は、国際審査会の審査に参加。その他の参加者は、自由に庭園を散策。 ・15:15~ アデレード女王の像の披露式</p> <p>※① キャリックヒル ・審査員は、審査発表会に参加。 ・その他の参加者は、館内を見学。館内ボランティアが説明担当。 ・シャンパンの提供あり。</p> <p>■11月1日(火) 13:30~15:30</p> <p>○訪問先、交流内容</p> <p>①ケルビン会長宅ガーデン訪問 ・自宅のばら園を自由に散策</p> <p>②市内の会員宅ガーデン、市内のガーデンを訪問 ・Jayne Kaders Garden, Urrbrae Garden, Dian vom Berrg's Garden 等を自由に散策</p> <p>■11月2日(水) 08:30~18:30</p> <p>○訪問先と交流内容</p> <p>①The cedars, Auchendarroch house, Snows Rd Garden ②Julique Farm, Grunthal Brew, Urbrae House ・途中昼食休憩あり。</p> <p>※③ 各訪問先にて、訪問先のガイド、担当者による説明の他、ハーブティーの提供、商品購入の機会あり。</p>

Ⅲ.大会プログラム内容

⑤閉会式・表彰式・ガラディナー

■閉会式の視察ポイント…閉会式はガラディナーの式次第に含まれる

■ガラディナーの視察ポイント

リサーチ対象	実地視察
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<p>■会場に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会場の収容人員（約500人） ○会場装飾（ステージのセッティング、各国国旗上下に設置、スクリーンあり） ○会場内の特設コンテンツ(会場入り口でウェルカムドリンク、ピアノ演奏) ○協賛社の取り扱い(ステージスクリーンにロゴの掲出) <p>■参加者に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参加方法（事前登録、参加料とは別に日本円で15,000円程度必要） ○受付方法（名乗り～名簿チェック～テーブル番号のお知らせ） ○ドレスコード（民族衣装を着た人など、正装） ○参加者への接遇（特になし） <p>■ガラディナーの進行に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進行プロトコル（主催者挨拶、豪州ばら会の皆さん登壇、表彰式、世界パラ会連合旗の授与式。幕間に音楽演奏） ○司会者(豪州ばら会 担当者) <p>■ガラディナーの運営に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケータリング内容(フルコース。グルテンフリーのメニューが掲載されていた) ○スタッフの配置（ケータリングスタッフのみ） ○感染症対策、警備体制(ノーマスク、警備体制は特に無し) ○案内、誘導方法（ケータリングスタッフが担当） ○車椅子、障がい者への接遇(特に見受けられなかった)

※①

アデレード植物園での審査会は、一般参加者は立ち入りを厳しく制限されていた。往復のバスも一般参加者とは厳密に分けるなど情報統制は厳しかった。広い植物園のばらの植栽は見事であった。途中風雨が強まり早めに式典会場へ。(銅像の除幕式などあり) 19世紀末の衣装に身を包んだ参加者が彩を添えた。

※②

キャリックヒルでは見事に手入れされた庭園を視察した。(花びらの落下状況からおそらく前日に手入れしたものと思われる) 邸内ではショップ・喫茶コーナーあり。参加者へはスパークリングワインのふるまいがあったが、悪天候で寒かったため、参加者は温かい飲み物を求めて喫茶コーナーでコーヒーなどを買う人もあった。

※③

風雨にさらされる日が2日あった。ポンチョの在庫が尽きたのか、2回目の雨天時には、事務局からのポンチョ支給なし。ジュリークファームでは化粧品の説明、薬草園、乾燥室の見学後、ショップ内で温かいハーブティーの振舞いがあった。ランチの際、ヒートショックを起こした高齢者あり。視察ツアーの際に看護師資格を有するスタッフが同行していると安心。参加者の平均年齢は70歳代後半と思われる。福山大会ではもっと高齢化が進んでいることを考慮すると、期間中、看護師資格を持つスタッフの常駐または同行が必要ではないか。

Ⅲ.大会プログラム内容

⑥各種表彰

Gold Medal	Henrienne de Briey – Belgium
Silver Medal	Rosario Algorta de Carrau – Uruguay
Bronze Medal	Pierre Orard – France
Commemorative Medallions Silver Medal	The National Rose Society of Australia
最優秀庭園賞	The International Rose Garden at Adelaide Botanic Garden,
優秀庭園賞	The Rose Garden at Shanghai Cheshan Botanic Garden, China Zweibrücken Rose Garden , Germany The East German Rose Garden, Forst, Germany Everland Rose Garden, Korea Roseraie Chateau de Munsbach, Luxembourg The Rose Garden in the Arboretum of Volcji, Potok, Slovenia Roselunds Rosarium, Jönköping, Sweden
優秀書籍賞	<p>「The History of the Rose in DENMARK」 by Torben Thim</p> <p>「Historical Rose in the Europa Rosarium Sangerausen」 by Hella Brumme & Eilike Vemmer</p> <p>「The Handbook of Wild Roses」 by Yuki Mikanagi</p> <p>「Luxembourg Land of Roses」 by Heidi Howcroft & Marianne Majerus</p> <p>「Rose Atlas- World of Roses」 by DR Tommy Caims & Luis Desamero</p> <p>「Rosa; The Story of the Rose」 by Peter E. Kukielski & Charles Phillips</p>

Ⅲ.大会プログラム内容

2.オプションツアー

⑦プレツアー

■プレツアーの旅程

日程	内容
●2022年10月22日(土) 	空港からホテルまで送迎。 夕食はホテルでとる。 ザ・リッジス・ワールドスクエア、シドニー 2泊 昼食は各自負担 夕食はホテルにて
●2022年10月23日(日) 	最初の訪問先／王立植物園とカリックス 王立植物園は、オーストラリアで最も古い植物園であり、科学的な施設です。30ヘクタールの敷地に広がる植物園を散策し、カリックスを見学する。 カリックス(Calyx)は活動の中心地で、南半球最大級の緑の壁があり、シドニー王立植物園の中心部に位置する。 シドニー王立植物園の萼は、「花の萼片」といわれ、花弁を包む渦を形成し、花芽の周囲に保護膜を形成する。花芽の周りに保護層を形成している。 その後、シドニーのシンボルであるオペラハウスへ移動し、ツアーガイドと合流する。 ヨーン・ウッツォンが設計したこの建物は、現在では史上最高の建築物のひとつとされ、世界遺産に登録されている。オペラキッチンでランチの後、自由行動となる。 夜は、Cyren Bar Grill Seafoodで食事となる。
●2022年10月24日(月) 	朝、シドニーを出発し、ブルーマウンテンズのキャンベル・シャクナゲ庭園へ向かう。ユーカリや低木を背景に、年中、花が咲いている。 春には シャクナゲ、アザレア、シダレザクラ、ライラックなどの外来種が、色とりどりの花を咲かせる。 エコーポイントでランチをとる。その後、ホテルへ移動し、夜は、交流会(ウェルカムカクテルパーティー)が行われる。
●2022年10月25日(火)	午前中は、ナショナル・トラストのエバーグレイズ・ヒストリック・ハウス＆ガーデンを訪問する。 オーストラリアで最も重要な歴史的庭園の一つであり、その個性的なデザインと歴史的な重要性から、他に類を見ないといわれている。ヨーロップスタイルのテラスや小道の散策を行う。 ユーカリの絨毯が敷き詰められた広大な渓谷や、紺碧の地平線に広がる絶景を楽しむ。 カリントン・ホテルでバーベキュー・ランチを楽しんだ後、歴史的建造物を見学する。夕食はホテルでとる。
●2022年10月26日(水) 	早朝、オーストラリア植物園マウント・アナンへ移動し、ガイドツアーに参加する。ばらの研究についてのプレゼンテーションのあと、ローズソサエティ・オブ・ニューサウスウェールズが提供するモーニングティーとともにプラントバンクでのケータリングランチをとる。 シドニーに戻る前に、プラントバンクでケータリングランチをとる。 ホテルで休息の後、ディナークルーズに出発する。
○2022年10月27日(木)	シドニー空港へバス移動しアデレードへ空路で向かう。

Ⅲ.大会プログラム内容

■プレツアーの諸注意

●ツアー費用(GST込み)	AUD\$2300.00 (213,900円) ※1AUD=93円で計算
●ツアーに含まれるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・5泊分の宿泊費 ・朝食5回、昼食7回、夕食5回 ・トイレ付き50人乗りバスでのコーチチャーターとコメンタリーキャプテン ・空港からホテルまでの定期送迎(往復) ・Rydges World Square Sydney のウェルカムディナー(ドリンクパッケージ付き) ・シドニー王立植物園のウォーキングツアー(カリックスも含む) ・シドニーオペラハウスガイドツアー(昼食付) ・サイレン・バー・グリル・シーフードでのディナー ・キャンベル・シャクナゲ庭園へのグループ入場 ・レストラン@ザ・ルックアウト・エコーポイントでのランチ ・エバーグレースガーデンへのグループ入場とガイドツアー ・ザ・キャリントン・ホテルでのランチ ・ザ・キャリントン・ホテルのグループツアー ・カイア・プティック・ホテルでのカクテル ・プラントバンクガイドツアー ・PlantBankでのランチ(Sprouts Gourmet Catering提供) ・インターナショナルゲストのためのアカシアシアターでの会場レンタル ・キャプテンクック シドニーハーバーディナークルーズ
●利用条件	<ul style="list-style-type: none"> ・一人につきAUD\$500.00のデポジットが必要です。 ・クレジットカード及び口座振込で支払う場合は、別途手数料が必要 ・旅行日程および旅行代金は予告なく変更されることがあります。
●手荷物	20kgの手荷物1個まで可能。 スーツケースが複数個の場合は、参加者自身で手配してください。
●COVID19	オーストラリア政府が認定したワクチン(COVID19の2種混合接種)を受ける必要があります。
●重要事項	ツアー中にCOVID19の陽性反応が出た場合、ツアーからの離脱をお願いすることがあります。返金はしません。 別途、発生する旅費、宿泊費などの追加費用は各自の負担となります。COVID-19の予防接種を受けていることを適切に証明する必要があります。
●ツアー参加条件	各ツアーの催行人数は40名。2台目のバスが必要な場合は、追加料金が必要です。最低催行人数に達しない場合、再募集またはキャンセルされることがあります。
●払い戻し	100日前までであれば、管理手数料AUD\$50.00を差し引いた全額を返金いたします。出発の60日前から当日までは払い戻しはしません。
●旅行保険	旅行保険に加入することをお勧めします。 適切な保険に加入されなかった場合の責任は負わない。
●不可抗力	<ul style="list-style-type: none"> (a)天災地変(地震、洪水、火災、爆発、地滑り、落雷、流失、台風、ハリケーン、サイクロン、津波、嵐、暴風雨など。) (b)労働争議、作業禁止、労働困難 (c)テロ行為、政情不安、戦争またはそのおそれ。 (d)定期運送の障害または遅延、空港または港湾の閉鎖 (e)パンデミック、疫病または健康上のリスク (f)政府および行政の措置(国境閉鎖、港湾の閉鎖を含む。)

Ⅲ.大会プログラム内容



Ⅲ.大会プログラム内容



Ⅲ.大会プログラム内容

⑧ポストツアー

■ポストツアー<前期>の旅程

日程	内容
●2022年11月4日(金) 	早朝出発し、南オーストラリア州で2番目に大きな都市、マウントガンビアへ向かい、モーニングティーとボックスランチをとる。クナワラのカマワールド・ガーデンで、スー・ズワーとジョン・ズワーから、4ヘクタールに及ぶ庭園の話聞く。4ヘクタール、数百本のばらが植えられおり、145ヘクタールの放牧地に40年かけて作った庭である。 「カマワールド」と呼ばれるこの庭は、リバーレッドガム(ユーカリ)にちなんだ名前で、ドイツ語で「森」を意味する「Wald(ヴァルト)」という単語を英語化したもの。午後は 地元のアトラクションを訪問します。午後遅く、マウント・ガンビアのザ・バーンへ到着。夕食前にドリンクサービスがある。
●2022年11月5日(土) 	庭を散策し、モーニングティーの後、Carol & John Berger夫妻からレクチャーを受ける。毛刈り小屋の歴史や色彩豊かな過去について説明を受け、毛刈りの実演を見学する。マウント・ガンビアに戻り、有名なブルーレイクを訪れる。渓谷 アンファーストン・シンクホール(またはサンクンガーデン)は、マウント・ガンビア地方で最も素晴らしい庭園の一つであり、海水の波で石灰岩が腐食してできた典型的な石灰岩の洞窟。 鍾乳洞の奥に進むと、素晴らしい庭園がある。ジョンとパティ・マッキー夫妻の自宅兼庭園である「シェリフミューア」のばら、ツバキ、ジャクナゲ、多年草などが咲き乱れる2エーカーの庭園を散策する。
●2022年11月6日(日) 	ビクトリア州、ポートランドのトレロア・ローズ社へ向かう。Treloar Rosesのモーニングティーとばら園、農園を見学する。ウォーナンブルは、海の猛威によって長い年月をかけて削り取られた柱が、波間からそびえ立っている。森の中の町、ローン(Lorne)へ向う。
●2022年11月7日(月) 	ビクトリア州立ばら園(The Victorian State Rose Garden)へ向かう。Werribeeのローズガーデンそして、Werribee Park Manorの周辺にあるこの庭園は、何千もの植物が植えられています。 昼食後、メルボルン・カップが開催されるフレミントン競馬場へ。フレミントン競馬場は、「国を動かすレース」として そしてばらの名所としても知られている。庭師長のMick Ryanと共に、ばら園を見学する。
●2022年11月8日(火) 	モーニングトン・ボタニカル・ローズ・ガーデンへ。86の花壇に4000本以上のばらと、オーストラリア原産の木々や低木が植えられている。 経験豊富なガイドがばら園を案内する。モーウェル センテナリー ローズガーデン は、100以上の花壇に400種3500本以上のばらが植えられている。(ヘリテージ、フロリバندا、ティーローズ、ハイブリッドティー、ミニチュア、ルゴサなど) デビッド・オースチンのモダンなシュラブローズが植えられたカスケードロッカリーや、香りのよいデルバードローズを植えたサンクス・センサリー・ガーデンもある。
○2022年11月9日(水)	ツアーは終了し、メルボルン空港へ。

Ⅲ.大会プログラム内容

■ポストツアーの諸注意

●ツアー費用(GST込み)	AUD\$ 2650.00 (246,450円) ※1AUD=93円で計算
●ツアーに含まれるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・5泊分の宿泊費 ・朝食5回、昼食5回、夕食3回 ・トイレ付き56人乗りバスチャーターと解説付きコーチキャプテン ・ツアーエスコート2名 ・インターコンチネンタルホテルからのボックスランチ ・カマワルド庭園への団体入場(モーニングティーとランチを含む) ・ザ・バーンでのディナー(ドリンクパッケージ付き) ・グレンコーガーデンへの団体入場(モーニングティー、ランチ、刃物の実演を含む) ・マウントガンビアのブルーレイク観光とアンファーストン陥没穴の探検 ・Shiriffmuir Gardens へのグループ入場 ・Treloar Rosesへの団体入場(モーニングティーを含む) ・ザ・リド・ラーダーによるボックスランチ ・ビクトリア州立ローズガーデン訪問 ・Wyndham Cachelによる昼食の提供 ・フレミントン競馬場へのグループ入場とグランドマンによるガーデンツアー ・Tally Hoによる昼食 ・モーニングトン・ポタニカル・ローズガーデンでの見学とツアー(モーニングティー付き) ・モーウェル・センテナリー・ローズ・ガーデンへのグループ入場
●含まれないもの	・記載されていない食事や飲み物
※以下の注意事項はプレツアーと同様	

■ポスト・ポストツアーの旅

●2022年11月9日(水)	ローンセストンからホバートへの旅、ウールマーズ・エステートでのランチ、オートランズでの散策、ホテルでの歓迎ディナー
●2022年11月10日(木)	ブルーニー島ツアー、ドラケン・アドミラル・レストランでのディナー
●2022年11月11日(金)	モナ美術館、ロイヤル・タスマニアン・ポタニカル・ガーデンズ、フロモア・クリーク・ラウンジでのディナー
●2022年11月12日(土)	サラマンカ市場、リッチモンドホテルでのディナー
●2022年11月13日(日)	ポートアーサー歴史遺産、タスマニアデビル動物園、クラウンプラザでの送別ディナー
○2022年11月14日(月)	メルボルン空港へ

Ⅲ.大会プログラム内容

■ポストツアー（ケータリング内容参考データ含む）



ワイナリーとばら園
ブドウ畑の側のばらの植栽デザインは、ケルビン・トリンパーさんのアドバイスによるもの

肥料化するための草のストック

雨水をためるタンク



Ⅲ.大会プログラム内容

■ポストツアー (ケータリング内容参考データ含む)



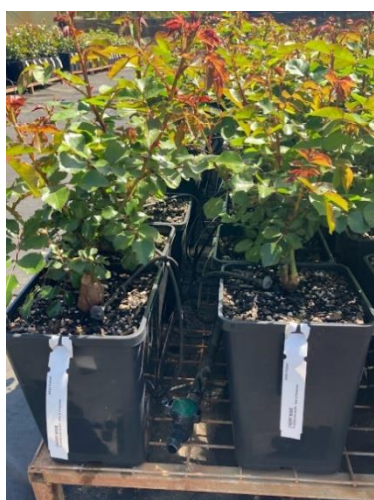
Ⅲ.大会プログラム内容

■ポストツアー(ケータリング内容参考データ含む)



Ⅲ.大会プログラム内容

■ポストツアー



Ⅲ.大会プログラム内容

■ポストツアー（ケータリング内容参考データ含む）





IV.大会運営視察

IV.大会運営視察

1. 実行委員会組織

■実行委員会組織の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<ul style="list-style-type: none"> ○各役職と役割 会長、ROSE & GARDEN EXPO担当、財務担当、記録担当等 ○役職者の所属 豪州ばら会と世界バラ会連合の役員

2. 宿泊・交通計画

■宿泊計画の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局・実地視察
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<ul style="list-style-type: none"> ○公認宿泊施設基準の比較 長期滞在型から、ビジネスホテルレベルまで幅広く提案 ○フロントの機能 各ホテルでは、特に大会関係者の受付要員は不在。 アデレード大会登録サイトから宿泊申し込みをした部屋にはウェルカムメッセージ、 ばらのブーケが添えられた部屋もあり。


















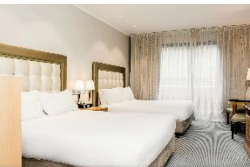









■宿泊計画の比較ポイント

アデレード大会		
項目	基準内容	
タイプ別の広さ	・シングル:17㎡以上	○
	・ダブル:17㎡以上	○
	・ツイン:17㎡以上	○
飲食物	・朝食の提供	なし
	・アレルギーへの配慮	一部あり
	・宗教、思想への配慮	特になし
基本設備	・ユニバーサル対応	特になし
	・フリーWi-Fi環境	あり
	・シャワートイレ	あり
ホスピタリティ	・24時間対応	あり
	・英語対応	あり
	・コンシェルジュ対応	通常の対応
	・多言語対応	基本英語
	・大会受付登録窓口の設置	会場にて











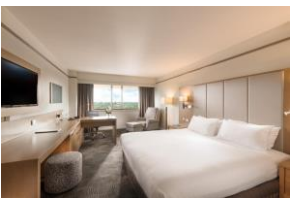
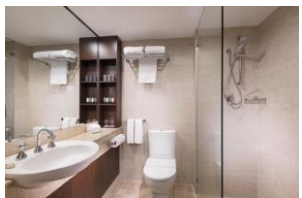






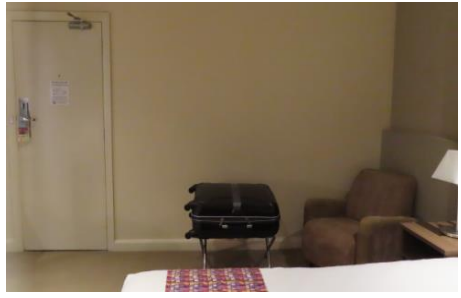


福山大会想定	
項目	基準内容
タイプ別の広さ	<ul style="list-style-type: none"> ・シングル:17㎡以上 ・ダブル:17㎡以上 ・ツイン:17㎡以上
飲食物	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の提供 ・アレルギー、ベジタリアンなどへの配慮
基本設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル対応 ・フリーWi-Fi環境 ・シャワートイレ
ホスピタリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間対応 ・英語対応 ・コンシェルジュ対応 ・多言語対応 ・大会受付登録窓口の設置

IV.大会運営視察

■参考資料:アデレート大会運営事務局幹旋ホテル(一泊料金/2022年9月現在)

ホテル	客室
<p>●インターコンチネンタル・アデレード</p>    	<p>・King Superior Room(朝食付き)/AUD \$ 255</p>  <p>・Twin Superior Room/9月時点で満室。</p> 
<p>●オーバル・ホテル</p>  	<p>・Parkland King Room/AUD\$249</p>  
<p>●プレイフォード・アデレード</p>    	<p>・お部屋おまかせ/AUD\$210</p>    <p>・Twin Room/AUD\$210</p>  
<p>●オークス・エンバシー</p>    	<p>・One Bedroom Apartment/AUD\$189</p>   <p>・Two Bedroom Apartment/AUD\$259</p>  

IV.大会運営視察

ホテル	客室	
<p>●オークス・ホライゾンズ</p>   	<p>・One Bedroom Apartment/AUD\$189</p>   <p>・Two Bedroom Apartment/AUD\$259</p>  	
<p>●スタンフォード・プラザ</p>   	<p>・Superior Park View/AUD\$239</p>  	
<p>●ザ・グロブナー・ホテル</p>  	<p>・Standard Room(朝食付き)/AUD\$139</p>  	
		
		

IV.大会運営視察

アデレード大会		
利用者属性	徒歩圏内	徒歩圏外
VIP・来賓	徒歩	各自手配
連合役員等	徒歩	各自手配
講師・ゲスト	徒歩	各自手配
出演者	徒歩	各自手配

福山大会想定		
利用者属性	徒歩圏内	徒歩圏外
VIP・来賓	ハイヤー	ハイヤー
連合役員等	徒歩	タクシー
講師・ゲスト	徒歩	タクシー
出演者	—	—

3.参加・登録方法

アデレード大会		
	早期登録	通常登録
全日参加	AUD 850 (79,050円)	AUD 1,050 (97,650円)
一日参加	—	AUD 200(/日) (18,600円) AUD 100(11/2) (9,300円)

福山大会想定		
	早期登録	通常登録
全日参加	AUD 850程度 (79,050円程度)	AUD 1,050程度 (97,650円程度)
一日参加	—	AUD 200程度(/日) (18,600円程度)

	全日参加	一日参加
◎登録キット ・コンGRESキット ・大会プログラム ・IDパス ・大会記念品	○ ○ ○ ○	× ○ ○ ×
◎参加可能プログラム ・開会式 ・講義 ウェルカムパーティ ・ローズショー ・期間中視察	○ ○ ○ ○ ○	○ ▲別料金 ○ ○ ○
◎シャトルバス	○	○
◎有料プログラム ・閉会式&ガラディナー ・交流会 ・有料視察ツアー ・プレツアー ・ポストツアー	▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金	▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金

	全日参加	一日参加
◎登録キット ・コンGRESキット ・大会プログラム ・IDパス ・大会記念品	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ×
◎参加可能プログラム ・開会式 ・講義 ウェルカムパーティ ・ローズショー ・期間中視察	○ ○ ○ ○ ○	○ ▲別料金 ○ ○ ○
◎シャトルバス	○	○
◎有料プログラム ・閉会式&ガラディナー ・交流会 ・有料視察ツアー ・プレツアー ・ポストツアー	▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金	▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金 ▲別料金

4.配布物

■配布物の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局・実地視察
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	○会議等における公式資料の収集 ○各プログラムごとの配布物を収集



5.広報計画

■広報計画の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局(広報担当者)・実地視察
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	○広報媒体資料の取得 (HP掲出、会場入口デジタルサイネージ) ○屋外広告の確認 (特になし) ○各種報道の確認 (特になし) ○web、SNSによる情報発信、拡散の確認(特になし)

6.ボランティア運用

■ボランティア運用の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局・各プログラムの運営責任者
リサーチ方法	実施取材
リサーチ内容	○ボランティアの種類・数 (豪州ばら会、60名程度) ○ボランティアの年齢、性別 (高齢者が占める) ○ボランティアの質、スキル (特にスキルがあるわけではないが、フレンドリーな対応) ○ボランティアのゲスト、参加者への対応(特になし) ○ボランティアマニュアルの有無(マニュアルなし)

■ボランティア運用の比較ポイント

アデレード大会	
種別	業務内容
会場ボランティア	ROSE & GARDEN EXPOのボランティアは、豪州ばら会メンバーが対応。受付の他、撤収の時に60名ほどのボランティアが手伝っていた。視察ツアー先のスタッフが説明を行う。
語学ボランティア	特になし

福山大会想定	
種別	業務内容
事務局ボランティア	・事務局業務補助 ・部会業務補助
	・登録者受付・案内・接遇 ・障がい者・高齢者支援 ・危機管理補助 ・ツアー補助、体験メニュー提供補助 ・大会記録
	・各部会業務補助 ・ツアーデスク補助 ・会場ボランティア補助

IV.大会運営視察

7.安全・衛生対策(感染症対策等)

■安全・衛生対策の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<ul style="list-style-type: none"> ○会議におけるガイドラインの設定(国・地域政府の施策等とのバランスについて) ○参加者へのアプローチ方法(事前に周知) ○各会場における感染症対策 ○医師、看護師の運用 ○緊急医療体制(特になし) ○新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの有無(マニュアルなし) ※全体的にコロナ対応、緊急医療体制はなされていない。

8.スポンサー・パートナー計画

■スポンサー・パートナー計画の視察ポイント

リサーチ対象	運営事務局(広報担当)・実地視察
リサーチ方法	実地取材
リサーチ内容	<ul style="list-style-type: none"> ○スポンサー・パートナーは、会議全体のスポンサーのほか、ROSE & GARDEN EXPOだけのスポンサーなどさまざま。 ○協賛会社へは、ROSE & GARDEN EXPOの出展や、視察ツアー先とするなどの対応が見られた。 ○できれば大会に関係する業種が好ましいとのこと。 ○2023年までのFELCO社の世界バラ会連合スポンサー契約が継続するかは、今後の調整による。 ○開催国、開催市からの助成金を受けていた。

■スポンサー・パートナー計画の協賛区分

福山大会想定

●スポンサーの協賛区分

協賛区分	協賛内容
ネーミングライツ・スポンサー	大会内のイベントなどの命名権
広告スポンサー	大会で作成する広告媒体への掲載
出展スポンサー	大会プログラムなどへの出展権

●パートナーの協賛区分

協賛区分	協賛内容
物品提供パートナー	大会に必要となる物品や資材、施設などの提供又は無償貸与協力
広報協力パートナー	企業・団体などが所有する広報媒体や有料広告物などへの広告掲載協力
協働事業パートナー	大会の趣旨に沿った事業を自主的又は協働で実施
役務提供パートナー	大会準備や運営への企業の技能を生かした人材提供協力

アデレード大会

協賛区分	協賛内容
ブロンズ・パートナー	P4 参照
シルバー・パートナー	
ゴールド・パートナー	
プラチナ・パートナー	



の確認事項

V.関係者、参加者からの意見、その他

1.アデレード大会 関係者より

●Michael Elwoodさん（運営統括ディレクター）

8年間に渡るプロジェクトで私は2015年のリヨン会議の前に委員会に参加し、ビデオやドキュメントなどの制作の業務を担いました。

今回、大きな変化のある時世の中で、いい形の大会になりました。そして、参加者から心のこもった有難いメッセージを頂きました。

福山大会には、北半球全体、そして、ヨーロッパや南半球から多くの参加者が見込めると思います。

日本は準備や段取りがとてもし長けているので、素晴らしい大会になると思います。

●Diane vom Bergさん（大会会計担当、セクレタリー）

7年前から計画してきました。運営会社と協力し準備してきました。4年前と同じように世界中から会員が集い、喜ばしく思いました。

福山の大会へは、時差もそれほどないので、オーストラリアから多くの会員が行くと思います。

●Kelvin Trimper AMさん（大会長）

世界バラ会議は、バラ好きの人々が世界中から一同に集まり、それぞれの知識、興味や関心、ばらの育成についての体験談を共有できるとても特別な会議です。

沢山のレクチャープログラム、様々なガーデン巡りなど人々が楽しめる素敵な機会でもあります。交流を通じて沢山の出会いがあり、皆さんとても楽しそうにお話をされ、笑顔が溢れていました。

数年前に福山市へ2025年の大会に向けた準備の為に会長と共に行きました。福山市は大変美しい街です。大き過ぎず、小さ過ぎず、程よい街のサイズが理想的です。福山城の素晴らしい歴史があり、境内も大変に美しかった。街に咲くばらも大変に見事でした。

2025年に福山で皆様にお目にかかれるのを楽しみにしています。

2.アデレード大会 参加者より

- ・大会に参加することによって、新しい出会いがあり、楽しみにしています。ガーデンを見ることができて、とても楽しかったです。
- ・パンデミックでしたが、久しぶりに仲間と会い、彼らのばらの様子を聞けるのが楽しかったです。
- ・プライベートローズガーデンが素晴らしかった。普段は見れないガーデンなので、嬉しかったです。
- ・ROSE & GARDEN EXPOでは、南オーストラリアのフラワーワークグループはとても頑張っていてフラワーアレンジメントが壮大で素晴らしかった。
- ・日本に3回行ったことがあり、福山へもいきました。2006年の大阪大会にも行きました。今回、福山市、そして日本ばら会のプレゼンテーションを見て、ぜひ行こうと思いました。
- ・福山市そして、日本ばら会のプレゼンテーションは素晴らしかったです。
- ・福山、広島を歴史を振り返るのは大事ですね。広島にも行きたいです。
- ・岐阜のガーデンも素晴らしいようなので、行きたいです。
- ・文化や歴史、ファッション、着物など日本の文化に興味があります。
- ・ブリーダーズパネルディスカッションがとてもよかったです。沢山の人がばらに対して情熱があり、ばらについて様々なアイデアなどを聞け、それぞれとても良い話でした。
- ・2011年ごろ、日本に行くことを計画したのですが、東日本大震災で行くことができませんでした。2020年3月にも計画しましたが、コロナのロックダウンでその時も行けませんでした。2025年は、ぜひ行きたいと思っています。
- ・福山大会の映像を見て、地域のばら栽培の雰囲気がとても素晴らしかったです。ばらが街じゅうに咲いていることは、本当に素敵です。大会の準備は大変なお仕事だと思いますが、素晴らしいものになるであらうと思っています。福山、広島に行けるのを楽しみにしています。
- ・紙は荷物になるので、情報はQRコードやデータが好ましい。
- ・福山では船旅を楽しみにしています。

3.ローズガーデンエキスポ出展者より

●Cherie Hutchinsonさん (Jurlique Farm Manager)

- ・2025年の福山大会にはぜひ参加したいと思っています。
- ・ジュリークの商品はばらと大変繋がりががあるので、世界中から集まるばらの愛好家の皆様にはばらを飾る楽しみと共に、私たちの商品も楽しんでいただければと考えています。
- ・ブリーダーやガーデンラバーは、ばらを育てて慈しみ、楽しみ、そして、切り花のばらを部屋に飾ったり、ギフトとして贈るなど楽しんでいます。私たちのばらの楽しみ方はスキンケアで楽しむことです。ばらは、ストレスを減らす効用があり、健康面でもよいです。人々を幸せにし健康に関われることは、とても光栄です。
- ・ジュリークは日本のポーラオルビス社と提携しています。私はファームを代表してジュリークの商品を紹介します。オーガニックローズにこだわり、無農薬での栽培、ばらに敬意と愛情を払い、素晴らしいスキンケア商品を作っています。

4.アデレード大会独自の特徴的な取組

- 主催者ホスピタリティの視点
最大のホスピタリティは、交流の時間を出来る限り確保することに尽きる。
参加者がストレスなく、世界各国の参加者とばらに関する意見交換を自由にできる環境づくりが必要。
- 会場装飾
最低限の装飾。「ROSE & GARDEN EXPO」の装飾花材の使いまわし、アレンジメントを会場入口装飾に活用するなど創意工夫が見られた。
- 視察ツアー訪問先の選定
遠すぎることなく、歩く距離も長距離ではない。
参加者のペースを考慮した訪問先の選定とスケジュールであった。
- 開会式、各種表彰等での演出
堅実な演出であった。
- 各種パーティー、ディナー等における演出
演出は特段変わったものは無い。開催国であるオーストラリア国歌の他、オーストラリアの伝統音楽をアコースティックな演奏様式で披露するなど、オーストラリアの文化芸術を体感するシーンがあった。
- コロナ対応(対策の温度感) など
入口などに消毒液が設置され、マスク着用については「体調が心配な方は着用してください」という呼びかけがあった。
体温計測や手洗い消毒の徹底などの重ねての呼びかけは一切なかった。

5.アデレード大会におけるWFRSガイドラインとの相違点

現地での会議数が少なかったのは、オンラインで事前に実施していたため。
会議・委員会の数は規定通り行っており、現地では最重要会議のみ実施した。

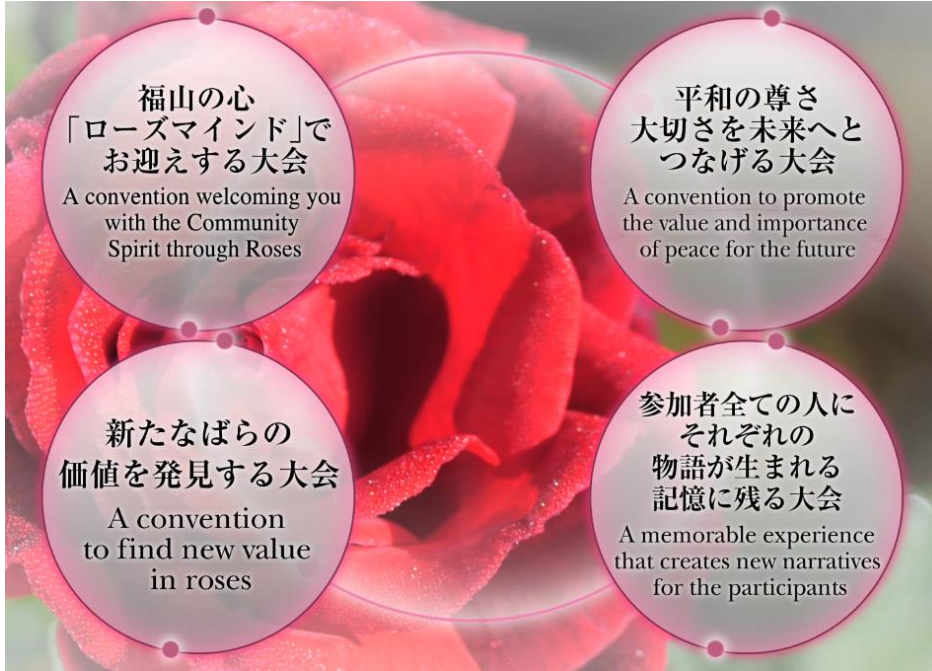


VI. 世界バラ会議福山大会の開催準備への考察

1. 「世界バラ会議福山大会」の4つの柱

「世界バラ会議アデレード大会」の最終日に、「ばらの将来」と題してパネルディスカッションが行われた。パネルディスカッションに登壇した有識者は、ばらが持つ可能性について、持続的、生産的、健康、イノベーションなどの言葉で締めくくった。

「世界バラ会議福山大会」のテーマは「Roses for the future」であり、大会開催の4つの柱は次のとおり。



2. 「世界バラ会議福山大会」のレガシー創出に向けて

世界バラ会議の参加者は、「ばら」に関することはもとより知的好奇心が旺盛であった。

新種の「ばら」、自国にはない「ばら」に関する情報、歴史文化など、多様な知的好奇心を満たし、「ばら」の探究を深め、「ばら」の新たな未来を共に考えるなどの情報交換のための場づくりが必要であり、次のような取組を2025年に向けて加速する必要がある。

- 福山市公共空間ばらの植栽デザイン計画に基づく植栽の充実
- 福山市の宝である福山市民が育てるばらの価値を市民と共有しての、まちづくりの担い手の育成
- ばらの各種取組(育種、商品開発、地域づくり等)の加速による、持続可能なまちとして先駆的なモデル都市への飛躍
- 世界バラ会議福山大会を契機とした、国内外への「ばらのまち福山」の認知度アップのための、福山からの発信力の強化
- 世界バラ会議特有の事情に配慮しながらの、世界バラ会議福山大会を契機とした、MICE受入推進の加速

VI.世界バラ会議福山大会の開催準備への考察

国際会議は、参加者同士が、専門分野の知見の交流を行い、学術的な発展及び学術的な見地から、社会的意義のある活動を促進する場である。

アデレード大会の視察結果から、留意点を次のとおり整理する。

●環境整備

3年に一度、行われる国際会議であるため、参加者同士の交流がストレスなく行われる環境づくりが必要である。さらに、高齢の会員が安全安心に参加できる体制も考慮する。

●会議の重要3項目

組織として必要な「会議」、学術的にばらの発展を学び合う「講義」、さらに、開催国のローズガーデンの「視察」が、3本柱となっている。

●参加者属性より年齢層

海外からの参加者の平均年齢は、70歳以上である。そのため、移動や会場の利便性などについて配慮する必要がある。

3.世界バラ会議福山大会の開催準備に向けて

■開催会場の選定について

MICEにおける会場選定の本質は、参加者の利便性と満足度を高めることにある。この点、世界バラ会議の参加者属性を鑑みると、連日行われる講義会場については、宿泊施設からの移動距離や、トイレ、バリアフリー設計といった施設の基本性能を重視すべきである。

■宿泊先について

アデレード市内は、長期滞在型ホテルから、ラグジュアリーホテル、ビジネスホテルクラスなどの多様な宿泊先の選択が可能であり、コンベンションセンターの周辺に点在していた。

福山市内では、利便性がよい場所に、2021年以降、新設のホテルが開業しており、JR福山駅周辺の会場への移動における利便性は向上している。しかし、アデレード市内のような、長期滞在型ホテルはほとんど無く、本大会のような長期滞在者の満足度を満たすとは言えない。

日本のホテルのホスピタリティは高く、利便性、満足度を考え、本会議の役員と共に現地確認を行い、大会公認ホテルを決定していく。

■市内交通について

アデレード市内では、トラムの無料区間があり、市民や来訪者が、市内を自由に回遊するなど利便性が非常に高かった。本市においても、大会参加者へ市内を回遊できるよう各種交通機関の案内を行うなど、参加者の満足度を高める方法を検討する必要がある。

■視察ツアー

視察ツアーでは、大型バスの使用機会が比較的多いことが想定される。

アデレード市内は、歩道が広く、市内の道路は、片側2車線以上は確保されていた。

また、アデレード・コンベンション・センター前の道路は、大型観光バスが4台以上駐車可能なスペースがあるなど、主要施設から大型バスへの移動がスムーズであり、大会参加者の満足度を高めた。

本大会は、講義後に視察ツアーが予定されている。視察先のプランを参加者属性に応じて検討し、参加人数に応じた回遊ルートを設定する必要がある。また、講義会場から視察ツアーへ行くためのバス乗降等が、スムーズに行える導線も考慮した会場選定を行う必要がある。

VI.世界バラ会議福山大会の開催準備への考察

■通信環境について

アデレード市内には、有料Wi-Fiスポットが市内各所に設置されていた。また、国際会議場には、施設利用者用のWi-Fiが整備され、スマートフォンの充電設備も整っていた。

来訪者はスマートフォンで訪問先の情報や位置情報の確認を行っており、世界バラ会議参加者は高齢者が多かったものの、誰もが自在にタブレット・スマートフォンを使いこなしていた。

すぐにインターネットに繋ぐことができる環境は、国外からの参加者において利便性が高く安心感がある。本大会でも、特に講義会場のWi-Fi環境は必須と言える。

■決済サービスについて

アデレード市内では、小売店、交通機関、露店など、ほとんどの支払場面においてクレジットカード決済が対応していた。そのため国外からの参加者としては、外貨への両替を最低限にすることができ、外国での支払いがストレスフリーであった。

海外においては、現金による支払い機会・習慣が減少している国も多く、クレジットカードなどのキャッシュレス決済に対応することで、参加者の満足度に繋げることができると考える。

■食の環境整備について

アデレード・コンベンション・センターでは、ビーガン、ベジタリアン、アレルギーに配慮した食の提供が行われていた。アデレード市内の飲食店においてもこれらの意識は高かったが、ハラルまでの対応は見られなかった。本大会の参加者には、事前にハラル対応が必要か確認を行ったうえで、対応を検討する必要がある。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けては、大阪市内で食のニーズに対応するピクトグラムの実証実験が行われ、万博会場内の導入も検討されている。こうした国内の動きに適合した対策を採っていく必要がある。

■SDGsへの取組の整備

日本国内ではすでに、エコバック、紙ストロー、マイボトル持参など、SDGsの取組が加速している。アデレード市においても同様の取組が見られ、視察ツアー先においては、紙コップではなく、陶器のカップで対応しているところもあった。

環境問題意識の高まりの中、PR可能な先駆的な取組を進めるとともに、リサイクル、脱プラスチックなどは積極的に取り入れていくことが望ましい。

■ユニークベニューの推進について

福山市は、会議やレセプション開催時に、歴史的な建造物や公的空間等で特別感を感じることができ、地域特性を演出することができる施設「ユニークベニュー」の活用を推進している。本大会では、レセプション開催時に参加者へ特別感・地域特性を感じることが出来る演出を行うことで、都市の差別化につなげる。

■ボランティア育成に向けての整備

国際会議の公用語は、「英語」である。語学の習得の期間を考慮すると、ボランティア育成プログラムにおいては、基本的なマナーを学んだ後、語学のスキルアップへと段階的に取り組む必要がある。

福山市民の強みは、子どもから大人までばらへの親しみや愛情を持っていることであり、世界バラ会議には、高度な語学力がなくとも、その土壌を活かして海外からの参加者との交流を行うことが可能。

また、ばらを通じたコミュニケーションによる福山らしいおもてなしは、来訪者の心に残るものであり、世界バラ会議の参加者のみならず、福山市民自身にとってもレガシーとなり得る。

4. 観光振興に向けて

■情報収集、整備、発信

海外からの国際会議参加者が日本に入国の後、福山市に来るまでの導線に必要な情報を整理し、参加者が不安なく、到着できる情報の発信のための環境づくりを整える。

さらに、プレツアー、視察ツアー、ポストツアーの行程や、訪問先の情報収集を行い、ホームページで、随時発信することにより、参加者の事前準備がストレスなく行えるよう取り計らう必要がある。

情報の収集、整備、発信が必要である。

■経済活性化に向けて①(商品開発)

アデレード市では、「世界バラ会議アデレード大会」のために作られた商品は見受けられなかった。また参加者に配布されたコングレスバックには大会のロゴが記載されていたが、その他、特に大会ロゴ等を活用した品も見受けられなかった。

一方で福山市では、ばらに関するグッズは、2001年から各事業者が取り組み、「認定ばらグッズ」として、福山市のPRへ寄与している。

今後も多くのばらグッズ、福山大会ロゴを活用したグッズのみならず、福山市らしい商品開発を促進し、地域の特産品の磨き上げを行うことは経済活性化の上でも重要である。

■経済活性化に向けて②(観光資源の開発;ばら)

「世界バラ会議アデレード大会」では、前述のとおりばらの歴史文化をテーマにした講義のほか、視察ツアーでは、ばらの庭園や、講義の内容を深く学ぶためのコースも用意されていた。

福山大会においても、講義と関連する視察ツアーのプログラムを用意するとより好ましい。

文化芸術は音楽のみならず、伝統芸能、美術など多様である。イベントやコンサートの他、ばらをテーマとした美術展は、参加者の知的好奇心が満たされると思われる。

また、アデレード大会の参加者の多くは、福山大会のプレゼンテーションの映像で紹介された地域花壇や学校花壇に興味を示された。市民が育てたばら花壇も重要な観光資源である。

■経済活性化に向けて③(観光資源の開発;文化)

アデレード大会の視察ツアーでは、歴史的建造物の訪問先のボランティアが説明していた。

参加者の多くは、日本の伝統文化に触れることを楽しみにしていた。

日本らしい歴史的建造物で日本文化を体験することができれば、体験が感動になる。

各施設と緊密に連携し、観光資源を磨き上げることが肝要である。

■経済活性化に向けて④(広報)

アデレード大会では、アデレード市の連携事業として、フラワーデーが2日間、開催された。

また、アデレード・コンベンション・センター内で開催されていた「ROSE&GARDEN EXPO」では、ばらや園芸に関する企業のブースが設置されており、商品の販売がなされ、珍しい品種のばらは完売していた。但し、両イベントとも、広報が十分とはいえなかった。

「世界バラ会議福山大会」、「ROSE EXPO」、同時期に開催する「福山ばら祭」をはじめ、各種連携事業を分かりやすく発信する取組の検討が必要。

